



# 令和3年度 青森市子ども会議 活動報告書



令和3年度青森市子ども会議フォーラム2021  
FOR CHILDREN  
～よかったら、ぼくたちの声も聞いてみませんか？～  
【令和3年11月20日（土）開催】

## ～ もくじ ～

### ◆ 青森市子ども会議活動報告

令和3年度の活動	・・・	1
臨時会議（事前顔合わせ会）開催概要	・・・	4
臨時会議（第1回子ども会議準備）開催概要	・・・	7
第1回開催概要	・・・	9
第2回開催概要	・・・	14
第3回開催概要	・・・	16
第4回開催概要	・・・	18
第5回開催概要	・・・	20
第6回開催概要	・・・	21
第7回開催概要（奈良市とのオンライン交流会）	・・・	24
第8回開催概要	・・・	30
第9回開催概要	・・・	33
第10回開催概要	・・・	36
第11回開催概要	・・・	39
第12回開催概要	・・・	40
第13回開催概要（子どもの権利条約フォーラム2021inかわさき）	・・・	42
第14回開催概要	・・・	44
第15回開催概要	・・・	45
青森市子ども会議フォーラム2021 FOR CHILDREN	・・・	47
～よかったら、ぼくたちの声も聞いてみませんか？～ 開催概要		
第16回開催概要	・・・	56
第17回開催概要	・・・	59
第18回開催概要	・・・	61
第19回開催概要	・・・	65
第20回開催概要	・・・	68
第21回開催概要	・・・	71
第22回開催概要	・・・	73
第23回開催概要	・・・	75
令和3年度 青森市子ども会議 活動報告会	・・・	77

◆ 令和3年度青森市子ども会議委員・青森市子どもサポーター名簿	・・・	81
---------------------------------	-----	----

◆ 青森市子どもの権利条例	・・・	82
---------------	-----	----

青森市では、「子どもの権利条例」に基づき、市政などについて、子どもが意見を表明し参加する場として、青森市子ども会議を設置しています。

## 令和3年度の活動

回	開催日	内容	参加人数
臨時会議 (事前顔合わせ会)	R3. 6. 12(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己紹介</li> <li>子どもの権利に関する講義</li> <li>令和3年度の活動について</li> </ul>	子ども会議委員 13名 子どもサポーター3名
臨時会議 (第1回子ども会議準備)	R3. 6. 26(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度の活動について</li> <li>第1回子ども会議の発表準備</li> </ul>	子ども会議委員 10名 子どもサポーター2名
第1回	R3. 7. 3(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市長報告</li> <li>動画作成、リモートツアーについて</li> <li>子どもの権利普及啓発グッズについて</li> </ul>	子ども会議委員 9名 子どもサポーター1名
第2回	R3. 7. 22(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの権利普及啓発Tシャツデザインについて</li> <li>今後の活動スケジュールについて</li> <li>撮影の内容について</li> </ul>	子ども会議委員 8名 子どもサポーター4名
第3回	R3. 8. 6(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふんばるアオモリ テイクアウトマーケットについて</li> <li>今年度の動画の撮影内容について</li> <li>奈良市とのオンライン交流会について</li> </ul>	子ども会議委員 10名 子どもサポーター1名
第4回	R3. 8. 10(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>SNS 発信について</li> <li>ねぶたの家ワ・ラッセの撮影</li> </ul>	子ども会議委員 5名 子どもサポーター1名
第5回	R3. 8. 11(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>青森県営浅虫水族館の撮影</li> <li>Instagram の投稿について</li> </ul>	子ども会議委員 12名
第6回	R3. 8. 12(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>三内丸山遺跡の撮影</li> <li>青森のラーメンの撮影</li> <li>三内縄文ベリーランドの撮影</li> <li>Instagram の投稿について</li> </ul>	子ども会議委員 12名 子どもサポーター2名
第7回	R3. 8. 21(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>奈良市とのオンライン交流会</li> </ul>	子ども会議委員 10名 子どもサポーター3名
第8回	R3. 9. 26(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>Instagram の投稿内容について</li> </ul>	子ども会議委員 4名 子どもサポーター1名
第9回	R3. 10. 10(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>Instagram の投稿内容について</li> <li>子どもの権利条約フォーラム 2021 in かわさきの発表資料について</li> </ul>	子ども会議委員 2名 子どもサポーター1名

回	開催日	内容	参加人数
第10回	R3.10.16(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>青森市民図書館の展示タイトルについて</li> <li>青森市子ども会議フォーラム 2021 について</li> </ul>	子ども会議委員 6名
第11回	R3.10.24(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの権利に関する講義</li> <li>フォーラムに向けた準備活動</li> </ul>	子ども会議委員 6名 子どもサポーター2名
第12回	R3.10.30(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの権利条約フォーラム 2021 in かわさきの発表リハーサル</li> <li>青森市子ども会議フォーラム 2021 に向けた準備活動</li> <li>Instagramの投稿について</li> <li>子どもの権利条約フォーラム 2021 in かわさきの事前顔合わせ会</li> </ul>	子ども会議委員 9名 子どもサポーター1名
第13回	R3.11.6(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの権利条約フォーラム 2021 in かわさきの発表リハーサル</li> <li>子どもの権利に関するパネル展の展示物作成</li> <li>子どもの権利条約フォーラム 2021 in かわさき</li> </ul>	子ども会議委員 9名 子どもサポーター2名
第14回	R3.11.7(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>青森市子ども会議フォーラム 2021 に向けた準備活動</li> </ul>	子ども会議委員 4名
第15回	R3.11.13(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>トークイベントについて</li> <li>青森市子ども会議フォーラム 2021 の準備</li> </ul>	子ども会議委員 7名 子どもサポーター1名
フォーラム	R3.11.20(土)	青森市子ども会議フォーラム 2021 FOR CHILDREN～よかったら、ぼくたちの声も聞いてみませんか?～	子ども会議委員 10名 子どもサポーター3名
第16回	R3.12.4(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>トークイベントについて</li> <li>青森市子ども会議フォーラム 2021 のアンケート報告</li> </ul>	子ども会議委員 6名 子どもサポーター1名
第17回	R3.12.19(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>2月6日の子どもの権利トークイベントについて</li> </ul>	子ども会議委員 6名 子どもサポーター2名
第18回	R4.1.8(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>あおもり冬のワンダーランド</li> <li>「青森市中心商店街おすすめ CAFÉ」マップのお店訪問</li> <li>トークイベントについて</li> </ul>	子ども会議委員 3名 子どもサポーター2名



回	開催日	内容	参加人数
第19回	R4.1.29 (土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの権利トークイベントの中止について</li> <li>・令和3年度青森市子ども会議活動報告会について</li> <li>・令和4年度青森市子ども会議委員募集チラシについて</li> </ul>	子ども会議委員4名
第20回	R4.2.19 (土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度青森市子ども会議活動報告会について</li> <li>・令和4年度青森市子ども会議委員募集チラシについて</li> <li>・Instagramへの投稿内容について</li> </ul>	子ども会議委員6名
第21回	R4.2.26 (土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度青森市子ども会議活動報告会について</li> <li>・令和4年度青森市子ども会議委員募集チラシについて</li> </ul>	子ども会議委員5名
第22回	R4.3.5 (土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度青森市子ども会議活動報告会について</li> <li>・Instagramへの投稿内容について</li> </ul>	子ども会議委員7名
第23回	R4.3.12 (土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度青森市子ども会議活動報告会について</li> <li>・Instagramへの投稿内容について</li> </ul>	子ども会議委員7名
活動報告会	R4.3.19 (土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度青森市子ども会議活動報告会</li> <li>・今年度の活動を振り返って</li> </ul>	子ども会議委員11名 子どもサポーター1名

## 令和3年度 青森市子ども会議 臨時会議（事前顔合わせ会）

- 1 日 時 令和3年6月12日（土）9時30分～12時30分
- 2 場 所 青森市中央市民センター 3階大会議室
- 3 出席者 会場参加：子ども会議委員7名、子どもサポーター2名、事務局5名  
オンライン参加：子ども会議委員6名、子どもサポーター1名
- 4 活動内容 (1) 令和3年度の活動内容説明  
(2) 自己紹介  
(3) 子どもの権利に関する講義  
(4) 令和3年度の活動について

### 5 開催概要

青森市子ども会議とは、まちづくりをはじめとした市政などに対し、子どもの立場から意見を表明することができるもので、小学5年生から原則18歳までの子どもたちで構成された会です。

今年度は、子ども会議委員21名（小学生5名、中学生4名、高校生12名）と、子どもたちの活動のサポートをする子どもサポーター7名（学生5名、社会人2名）で活動をスタートします。

子ども会議では学年や学校も超えて仲良くなれるほか、いろいろな活動を通じた学習や体験、子どもの権利について深く学ぶことができます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて、オンラインも使用した事前顔合わせ会となりました。



### 令和3年度の活動内容説明

はじめに、事務局から今年度の子ども会議の活動スケジュールについて説明がありました。

今年度は、昨年度新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった「青森市子ども会議フォーラム」を11月に、活動の締めくくりとなる「活動報告会」を3月に予定しているほか、前から子ども会議委員のみんなから要望があった「他都市とのオンライン交流」が新たに実施できることになりました。

新しい取組もあるので、子ども会議の活動を盛り上げていきたいです。

## 自己紹介

次に、子ども会議委員及び子どもサポーターが、事前に考えてきた「青森市の好きなおとこ」や「子ども会議でしてみたいこと」などと一緒に自己紹介しました。

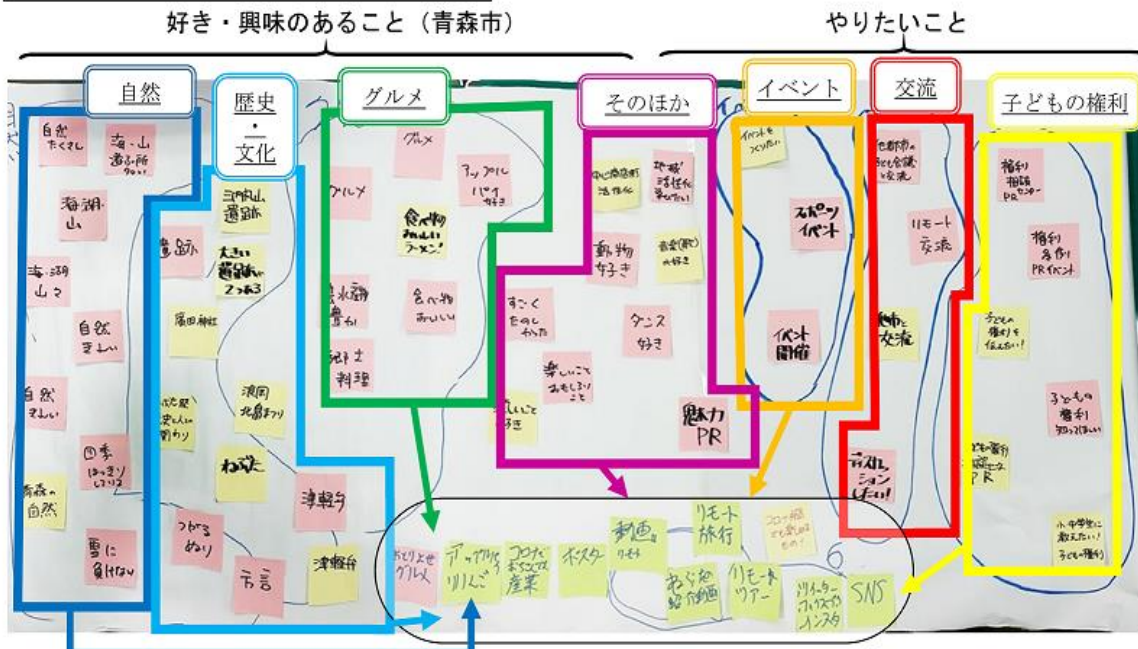
### 〈青森市の好きなおとこ〉

- ・ねぶた祭や浪岡北島まつり
- ・海や山など自然がたくさんあり、きれい
- ・ラーメンやリンゴなどグルメが美味しい
- ・三内丸山遺跡と縄文文化
- ・津軽塗や津軽弁などの伝統文化

### 〈子ども会議でしてみたいこと〉

- ・子どもの権利をもっと知ってもらいたい
- ・他都市と交流したい
- ・イベントを開催したい
- ・青森市の魅力をPRしたい
- ・ディスカッションしたい

実際に子ども会議委員・サポーターから出た意見



新型コロナウイルスの感染を踏まえ、今年度活動できることは何か？

⇒リモートツアー（旅行疑似体験）や SNS の活用

## 子どもの権利に関する講義

子どもの権利擁護委員の関谷道夫先生から、初めて顔を合わせた子ども会議委員同士が仲良くなるきっかけとして、ワークショップなども含めた子どもの権利に関する講義をしてもらいました。

ワークショップでは、24時間以内にあった「良かったこと」や「新しい発見」などをシェアして、全員で拍手をする「Good & New (グッドアンドニュー)」や10年後の自分を想像し、未来の自分が今の自分にどんな言葉をかけるか考える「タイムマシン・クエスチョン」などを行いました。みんなのいろんな考えや意見を聞いて楽しかったです。



### 令和3年度の活動について

今年度の活動については、まず「新型コロナウイルス感染症に負けずに、子ども会議では何ができるのか」を考えました。

すると、コロナ対策で家にいる間に SNS を見る時間が増えた委員が多かったので、みんなが楽しんで見ている SNS を活用すれば広く活動ができるのではないか、との声がありました。

①SNS (Twitter、Instagram、Facebook など) を活用した情報発信

②リモートツアー (旅行疑似体験) として、青森市内を実際の観光者目線で配信

この2つをメインとして、相互に連携を取りながら活動していく方針でまとめられました。

発信していく内容については、自己紹介で発表してもらった内容のほか、お取り寄せグルメやねぶたの紹介、ポスター作成や子どもの権利についての周知啓発、青森の名産であるリンゴの食べ比べとしてアップルパイを作るなど、子ども会議委員の興味のある内容を盛り込んでいくことになります。

次回6月26日は、これらの具体的な内容について話し合い、7月3日の第1回子ども会議の市長発表に向けて準備活動を行っていきます。





## 令和3年度 青森市子ども会議 臨時会議（第1回子ども会議準備）

- 1 日 時 令和3年6月26日（土）9時30分～12時30分
- 2 場 所 青森市役所 議会棟4階 第1・第2委員会室
- 3 出席者 会場参加：子ども会議委員8名、子どもサポーター2名、事務局5名  
オンライン参加：子ども会議委員2名
- 4 活動内容 （1）今年度の活動について  
（2）第1回子ども会議の発表準備

### 5 開催概要

第1回青森市子ども会議で行われる市長への報告に向けて、司会や発表者の役割のほか、発表内容について話し合うなどの準備活動を行いました。

#### 今年度の活動について

前回話し合った内容を踏まえ、テーマや実際に紹介したい場所など、さらに詳しい活動内容について話し合いました。



テーマ決めでは、子ども会議委員から「魅力再発見」「青森の絶景」「コロナに負けない」などの案がでました。

この中で話し合った結果、令和3年度の青森市子ども会議活動テーマは『青森市の魅力再発見』に決まりました。

このテーマのもと、「コロナに負けずにできること」や「コロナ禍だからこそできるようになったこと」について調査・研究し、子どもならではの目線から青森市の魅力を再発見したいと考えています。

次に、具体的な活動内容について話し合いました。今年度はリモートツアー（旅行疑似体験）・動画作成、SNSを利用した情報発信をしていく予定ですが、実際にリモートツアーで紹介したい場所につ



いて案を出し合いました。

委員から出た「大人向けの場所と子ども向けの場所で分けたいのではないか」という意見のほかの委員も賛成したため、大人向けと子ども向けで紹介したい場所を分けました。

〈大人向けの主な意見〉

・郷土館 ・三内縄文ベリーランド ・ラーメン屋 ・三内丸山遺跡

〈子ども向けの主な意見〉

・浅虫水族館 ・三内縄文ベリーランド ・ねぶたの家ワ・ラッセ

最後に今年度の活動をしていくに当たって、抱負を話し合いました。「どの世代の人にも青森市をもっと好きになってもらう」や、「青森市のいいところを市内外の人に知ってもらう」、「青森市が元気に栄えるように魅力を紹介」など様々な意見が出ました。

いちばん賛同された「青森市を盛り上げる」に、みんなから出た意見も組み合わせて、「青森市のことをたくさんの人たちに知ってもらうとともに、僕たち自身も詳しくなって、もっと青森市を盛り上げよう!」に抱負が決まりました。

これから青森市子ども会議委員一丸となって、青森市を盛り上げるために活動していきます。

### 第1回青森市子ども会議の発表準備

休憩をはさんでから、第1回子ども会議での司会者と発表者を決めて、実際にリハーサルを行いました。発表者決めでは立候補があったほか、高校生委員が話し合いに参加しながら発表原稿を作成するなど、みんなで協力できたので、スムーズに発表練習を行うことができました。

発表者は二人とも今年度からの参加ですが、リハーサルでも堂々と発表することができていました。第1回子ども会議での発表が楽しみです。

次回7月3日は、実際に市長の前で発表します。緊張しすぎることなく、練習通りに頑張ります。





## 令和3年度 第1回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和3年7月3日(土) 9時30分～12時30分
- 2 場 所 青森市役所 本庁舎2階 庁議室  
青森市役所 議会棟4階 第1・第2委員会室
- 3 出席者 庁議室参加：子ども会議委員3名、市長、事務局7名  
第1・第2委員会室参加：子ども会議委員3名、事務局3名  
オンライン参加：子ども会議委員3名、子どもサポーター1名
- 4 活動内容
- ・市長報告
  - (1) 開会
  - (2) 市長あいさつ
  - (3) 子ども会議委員および子どもサポーターの自己紹介
  - (4) 令和3年度青森市子ども会議の活動内容について
  - (5) 市長からの感想
  - (6) 写真撮影
  - ・動画作成、リモートツアーについて
  - ・子どもの権利普及啓発グッズについて

### 5 開催概要

事前顔合わせ及び市長報告に向けた準備活動の2回の臨時会議を開催し、ようやく本日の第1回子ども会議を迎えました。

#### 開会

司会を務めた今年で4年目になるベテラン高校生委員の開会のあいさつにより、第1回青森市子ども会議がスタートしました。

はじめに、市長から一言ごあいさつを頂きました。



## 市長あいさつ

おはようございます。青森市長の小野寺晃彦です。

今日は令和3年度の第1回青森市子ども会議です。オンライン参加と、直接会場に来てくださった方がいます。なかなか新型コロナウイルス感染症が収まりませんが、上手に子ども会議を運営してもらえればうれしく思います。

それから、今年は新しく5人のメンバーが加わったほか、昨年度まで子ども会議の委員だった先輩たちがサポーターになってくれて、全部で28人と聞いています。頼もしい味方がたくさん増えたことが本当にうれしいです。

昨年は、青森市の魅力を伝えるPR動画を作ってくれました。プロのCMみたいでとてもびっくりしたのですが、ぜひ今年度も青森の魅力を発信することに協力してください。今日はよろしくお願ひします。



## 自己紹介

今年度一緒に活動する委員およびサポーターから、青森市の好きなおとこやこれからの子ども会議でやりたいことなどと一緒に自己紹介をしました。



## 令和3年度の青森市子ども会議の活動について

代表の委員2名がパワーポイントを用いて発表しました。

### (発表の概要)

令和3年度の活動テーマは『青森市の魅力再発見!』に決定しました。

青森市の魅力を僕たち子どもならではの目線で、リモートツアーや SNS を活用して発信したいと思います。例えば、浅虫水族館や三内丸山遺跡、三内縄文ベリーランドなどの紹介や子どもの権利について発信していきたいです。

8月には、奈良市の子ども会議とオンラインで「コロナ禍での過ごし方の工夫」について意見交換を行う予定です。

11月には、昨年度行うことができなかった「子ども会議フォーラム」を実施します。調査・研究など活動する中で気が付いた「疑問」や「青森市への提案」を発表します。フォーラムで頂いた意見を参考にしながら活動を行っていきます。

3月には、今年度の活動の締めくくりとなる「活動報告会」で今年度の活動を報告します。

最後に、今後の抱負は『青森市のことをたくさんの人たちに知ってもらおうとともに、僕たち自身も青森市について詳しくなり、もっと青森市を盛り上げよう!』です。

学校・学年も様々ですが、みんなで協力しながら今年1年間頑張ります。

よろしくお願いします!



青森市の魅力を子どもならではの目線で発信

- ・リモートツアー (旅行疑似体験) ⇒動画作成



SNS発信





## 市長からの感想

いま発表してもらった内容は短くてコンパクトですが、すごいことがいっぱい入っていました。これまでやったことのない他都市とのオンライン交流の話もありました。夏休みの交流になると思いますが、ぜひ青森の魅力・奈良の魅力を互いに伝え合う、コロナならではの会にしてください。

それから、11月に「子ども会議フォーラム」があります。青森市で一番位の高い大事な会議室である「青森市議会の議場」をお借りして、子ども会議の皆さんに発表をしてもらい、それをいろんな人に見てもらうとても大事な会議ですので、それに向けてしっかり研究を続けてください。

そのほかにもリモートツアーの話がありました。こういうときだからこそできる取組がたくさんあるようで、楽しみにしています。

最後に言ってくれた青森市の魅力をどんどん発信するために我々もいろんな隠し玉も含めて用意したいと思いますので、ぜひ皆さんで青森市のことをたくさんいろんなかたちで発表することに改めて力を貸してほしいと思います。

ぜひ一年間よろしくお祈いします。



## 写真撮影

最後に、オンラインで参加している人も合わせて全員で市長と写真撮影を行いました。小野寺市長に今年度の活動予定を報告するというので、司会者と発表者2人も始まる前から緊張していましたが、堂々と発表することができました。オンライン参加の委員・サポーターの自己紹介もスムーズに行うことができ、大成功で終わりました。



## 動画作成・リモートツアーについて

市長への報告が無事に終わり、休憩をはさんだ後、前回の続きをグループに分かれて話し合いました。

会場の参加と、オンラインの参加でグループに分かれて、まずは会場グループが「子ども向けの場所」、オンライングループが「大人向けの場所」について話し合いました。それぞれのグループで話し合われた内容を発表し、次にテーマを交換して話し合いました。両グループで出た主な意見は以下のとおりです。

子ども向けの場所	大人向けの場所
○浅虫水族館 ・イルカショー、タッチコーナー ・トンネル水槽	○三内縄文ベリーランド ・美容と健康にいいことをアピール ・基本情報（場所・料金など）を紹介
○ワ・ラッセ ・嚙子体験、ショー	○三内丸山遺跡 ・季節ごとの体験や製作体験
○三内縄文ベリーランド ・ベリーの種類の紹介、食べ比べ	○ラーメン屋 ・煮干しラーメン（各店の違いを紹介） ・食レポ動画撮る
○モヤヒルズ ・ヒルズサンダー ・スキーでてっぺんまで行く	○飲食店の紹介 ・コロナで影響を受けた居酒屋のお弁当

子ども向けでは、自分たちが体験できるものや楽しめるものをメインに、大人向けではグルメの紹介や、より深い情報を盛り込むのが良いのではないか、と意見が出ました。



## 子どもの権利普及啓発グッズについて

最後に、今年度の子どもの権利普及啓発グッズについて話し合いました。

今年度は他都市との交流があるということで、青森市子ども会議みんなの団結がアピールできるものを考え、Tシャツに決めました。デザイン案をそれぞれ考えておいて、次回の会議で決めます。

## 令和3年度 第2回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和3年7月22日（木） 9時30分～12時30分
- 2 場 所 青森市役所 議会棟4階 第1・第2委員会室
- 3 出席者 会場参加：子ども会議委員8名、子どもサポーター3名、事務局4名  
オンライン参加：子どもサポーター1名
- 4 活動内容 (1)子どもの権利普及啓発Tシャツデザインについて  
(2)今後の活動スケジュールについて  
(3)撮影の内容について

### 5 開催概要

夏休みが始まり平日にも活動できるようになったので、これからの活動スケジュールを決めて本格的に活動を進めていくことにしました。

#### 子どもの権利普及啓発Tシャツデザインについて

事前に提出してもらったデザインのほか、当日持ってきてもらったデザインをもとにみんなで話し合いました。

左胸のワンポイントは、みんなから好評だった盾のデザインをもとに、青森市子ども会議考案キャラクターである「けんりはかせ」のシンボルである帽子のほか、デザイン案として多く挙げられたりんごを掛け合わせた新しいデザインに決定しました。

背面中央デザインは、高校生委員から提出されたデザインが採用されました。



(このほか悩んだデザイン)



青森市子ども会議♡



青森市子ども会議委員のみなさん、事務局のみなさん、ご協力いただきありがとうございます。また、今回デザイン案を提出いただいた子どもたちにも感謝いたします。今後も、子どもたちの意見を大切にし、活動を進めてまいります。

青森市子ども会議委員 代表 佐藤 大輔

事務局 青森市役所 議会棟4階 第1・第2委員会室

TEL: 017-833-3111 FAX: 017-833-3112

〒980-0811 青森市青森1-1-1



### 今後の活動スケジュールについて

事前に子ども会議委員のみんなから聞き取った日程をもとに、活動可能な人数が多い日を活動日に決定しました。また多くの委員が参加できるように一日を通して活動することとし、午前・午後どちらかだけでも参加できるようにしました。

具体的には、下記のとおり活動を進めていきます。

日 程	活 動 内 容
8月6日(金)	・ どのような映像を撮影するのか、どんな風景を撮れば良いのかなど、具体的な内容等を話し合い準備する ・ 奈良市とのオンライン交流会について準備する
8月10日(火) ～12日(木)	実際に各施設へ行き撮影する (ワ・ラッセ、浅虫水族館、三内丸山遺跡、三内縄文ベリーランド)
8月17日(火) ～18日(水) ※午後のみ	撮影予備日として予定 (天候不良等により撮影できなかった場合の予備)
8月21日(土) ※午前のみ	奈良市とのオンライン交流会

### 撮影の内容について

実際に、どんな風景や映像を取りたいのか企画しました。

施設名	撮影したい内容
三内縄文ベリーランド	ベリーの種類の紹介 食べ放題ができることが知られていないためPRしたい
ねぶたの家 ワ・ラッセ	プロテオグリカン(購買で売っている) LIVEで囃子の様子などを発信することでねぶたを身近に感じてもらえる
浅虫水族館	イルカショー タッチコーナー 楽しく体験できるものを発信
三内丸山遺跡	土偶づくり等の体験コーナー 季節ならではのイベント(夏の祭りがある) ボランティアガイドをしている子どもサポーターのガイド
ラーメン屋	にぼし、味噌カレー牛乳ラーメン (長尾中華そば、ひらこ屋、味の札幌大西など)
コロナで影響を受けたお店	ふんばるアオモリ テイクアウトマーケットを活用し、お店等をPR (8月6日(金)実施予定)

### 今後の活動について

次回8月6日の会議で実際に撮影する具体的な内容について話し合い、10日～12日に実際に撮影を行います。

## 令和3年度 第3回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和3年8月6日（金） 9時30分～16時30分
- 2 場 所 青森市役所 議会棟4階 第1・第2委員会室
- 3 出席者 会場参加：子ども会議委員9名、子どもサポーター1名、事務局3名  
オンライン参加：子ども会議委員1名
- 4 活動内容 (1)ふんばるアオモリ テイクアウトマーケットについて  
(2)今年度の動画の撮影内容について  
(3)奈良市とのオンライン交流会について

### 5 開催概要

施設を訪問し、動画や写真の撮影、取材など本格的に活動が始まります。このため、今日は動画撮影に向けた最終の準備活動を行いました。

#### ふんばるアオモリ テイクアウトマーケットについて

子ども会議委員から「新型コロナウイルス感染症で影響を受けたお店を紹介して少しでも力になりたい」という意見が出ていたので、青森市役所本庁舎の1階で開催されている青森商工会議所青年部主催の「ふんばるアオモリ テイクアウトマーケット」について写真撮影や取材を行うことにしました。

今日は主催者である青森商工会議所青年部の担当者さんと「ふんばるアオモリ テイクアウトマーケット」に出店している「焼肉きんぎょ」さんからお話を伺えるということで、まずは聞きたいことについてみんなで話し合いました。「コロナでどれくらい売上に影響があったか」、「客層に変化はあったか」、「オススメのメニュー」や「お店の名前の由来」など聞きたいことがまとまったところで、写真と動画の撮影者を決めて、会場である本庁舎の1階に向かいました。美味しそうなお弁当がお手頃価格で並んでおり、買いに来る人はみんなとても悩んでいる様子でした。開始30分も経たないうちにほとんどのお店が完売していて、とてもびっくりしました。

販売が落ち着いたところで、取材を行わせていただきました。新型コロナウイルス感染症の影響により売上や客足が半分以下くらいまで減ってしまっていることを知り、やっぱり新型コロナウイルス感染症の影響は大きいことが分かりました。飲食店の皆さんは、イベントへの積極的な参加や新しいテイクアウトメニューの開発など、たくさん工夫していました。



午後も活動があるので、私たちも実際にワンコインランチを買って食べましたが、500円とは思えないくらい量が多くて美味しかったです。割引券やお食事券などがついていて、実際にお店にも食べに行ってみようと思いました。青森市でも新型コロナウイルス感染症の影響があるので、積極的に飲食店についても情報を発信して青森市を盛り上げたいと思います。

### 今年度の動画の内容について

動画の撮影場所やスケジュールが決まってきたので、実際に撮る動画の構成について、前回決めたメンバーに分かれて考えました。

動画では観光客にも施設の魅力が分かる構成にするため、水族館チームでは、浅虫温泉駅から水族館まで実際に歩いて、駅からの行き方の動画を撮ったり、見どころであるトンネル水槽やイルカショーを撮ったりすることにしました。

三内丸山遺跡では、縄文時代を楽しめる体験工房でのものづくりと、ボランティアガイドをしている子どもサポーターの説明を受けて遺跡を回ることが決まりました。

ねぶたの家ワ・ラッセでは、実際に生のねぶた囃子を聞きながら跳ねている場面や、売店で売っている商品などを撮影することにしました。また、ワ・ラッセ内はねぶた囃子が流れているので、音声は別撮りできるよう、画面も工夫することになりました。

三内縄文ベリーランドでは、ベリーの種類の紹介のほか、実際にベリーの収穫や食べ比べをしてみんなが純粋に楽しんでいる様子を撮影することにしました。



### 奈良市とのオンライン交流会について

8月21日に行われる奈良市とのオンライン交流会の流れについて事務局から説明がありました。青森市の取組発表のほか、グループワークの内容発表、交流会全体の感想発表など、いくつか役割がありました。役割決めではみんなが積極的に挙手をしたので一瞬で決まりました。次に、交流会で行われるグループワークに向けて、奈良市の子ども会議のテーマである「with コロナの過ごし方」について自分たちでも考え、みんなの意見を共有しました。みんなの過ごし方を聞いて、同じ青森市でも様々な意見があったので、奈良市の人とはどんな過ごし方をしているのかとても楽しみになりました。

## 令和3年度 第4回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和3年8月10日（火） 9時30分～16時30分
- 2 場 所 青森市役所 議会棟4階 第2委員会室
- 3 出席者 会場参加：子ども会議委員5名、子どもサポーター1名、事務局3名
- 4 活動内容 (1) SNS 発信について  
(2) ねぶたの家ワ・ラッセの撮影

### 5 開催概要

今日から本格的な撮影が始まります。撮影に合わせて、SNS の発信にも力を入れていくことになりました。

#### SNS 発信について

今年度の活動予定であった SNS を利用した情報発信にもそろそろ取り組んでいこうということで、高校生委員が中心となって SNS 発信について考え、“Instagram” に絞って発信していくことに決まりました。

まずは、青森市子ども会議のプロフィール文のほか、初投稿の原稿としてこれから活動していく意気込みや、前回取材を行った「ふんばるアオモリ テイクアウトマーケット」の投稿内容を考えました。

テイクアウトマーケットでは、実際に撮った写真の中から投稿に使う写真を選び、投稿文やハッシュタグについて意見を出し合いました。多くの人に検索して見てもらえるようなハッシュタグ選びに苦戦しました。

これから各施設の取材の様子や青森市の魅力 PR、子どもの権利の普及啓発などについて発信していく予定です。フォロワーを増やしてインスタライブを使ったりリモートツアーも行えたらいいな、と今後の活動について話し合いました。



青森市子ども会議

aomori.kodomokaigi |

投稿3件   フォロワー31人   フォロー中2人

**青森市子ども会議【公式】**  
青森市の小学生から18歳までのメンバーが、子どもの権利の普及啓発や地域活性化について活動しています！  
令和3年度では、活動の中で学んだ子どもの権利や青森市内のオススメスポットなどを子ども会議委員が発信します👉(〇\*)👈  
[www.city.aomori.aomori.jp/kodomo-kyouiku/soudan-teate-josei/kodomo-kaigi/in...](http://www.city.aomori.aomori.jp/kodomo-kyouiku/soudan-teate-josei/kodomo-kaigi/in...)

お昼は、またみんなで「ふんばるアオモリ テイクアウトマーケット」でお弁当を買い、前回とは違うお弁当を食べてみました。前回食べていた様子を見て美味しそうと思った子たちが揃って同じランチを購入していました。居酒屋のランチが多かったなので、大人向けの味が多かったですが、どのお弁当も美味しかったです。



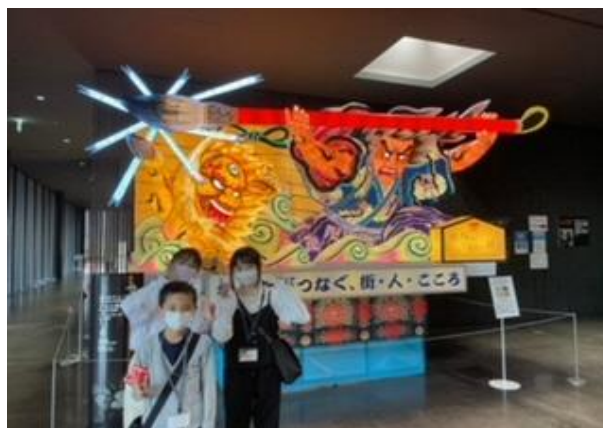
### ねぶたの家 ワ・ラッセの撮影

午後は、ワ・ラッセの撮影です。午前中に撮影する構成について改めて確認し、カメラやビデオの使い方を少し練習してからワ・ラッセに向かいました。

2019年に実際に運行された大型ねぶたを間近で見たり、久しぶりに生のねぶた囃子を聞きながら実際に跳ねたりすることができました。360°どこからでもねぶたを間近で見られるほか、その日によって違う団体のねぶた囃子を聞くことができ、ねぶたの顔をじっくりと見比べることができるのはワ・ラッセならではの体験でした。

新型コロナウイルス感染症の影響で2年連続中止になってしまったねぶた祭りですが、ねぶたがないと本当に寂しい夏だと、より一層感じました。早く開催できるようになって、たくさんの観光客に青森のねぶた祭りを見に来てもらいたいです。

初めての撮影でしかも人数も少ないということで、撮影が終了する頃にはみんな疲れ切っていましたが、明日も浅虫水族館の撮影があるので、気合を入れて頑張りたいと思います。





## 令和3年度 第5回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和3年8月11日（水） 9時30分～16時30分
- 2 場 所 青森市役所 議会棟4階 第1・第2委員会室
- 3 出席者 会場参加：子ども会議委員12名、事務局4名
- 4 活動内容 (1)青森県営浅虫水族館の撮影  
(2)Instagramの投稿について

### 5 開催概要

本格的な撮影の2日目です。今回は青森県営浅虫水族館に行きました。

#### 青森県営浅虫水族館について

水族館の撮影構成については、水族館の中のほかに、浅虫温泉駅で降りてから水族館までの道のりについても撮影すると決めていたので、まずは浅虫温泉駅へ向かいました。浅虫温泉駅前で動画を撮って散策していると、駅のすぐ近くに足湯があったので、足湯に浸かっているところも急遽撮影することにしました。台風が近づいていてあまり気温が高くなかったため、普段なら熱く感じる足湯の温度もちょうどよくて気持ちよかったです。足を少し休ませたところで、駅から水族館まで歩いて向かいました。話しながら道なりに沿ってまっすぐ歩くと10分ほどで浅虫水族館が見えました。駅からあまり遠くなく、電車で行きやすい場所にあることがわかりました。

水族館の撮影の構成を企画していた委員が撮影に使うカンペなどを事前に準備してくれたので、テレビ番組のロケ風に撮影したり、カンペを持って各ブースを紹介する写真を撮ることができました。また、イルカショーやタッチコーナーではみんなでワイワイ水族館を無邪気に楽しむことができたので良かったです。

お昼には水族館内にあるこころ食堂でご飯を食べてひと休みしてから、海獣館のえさやりタイムなど午前で撮影できなかった部分を撮影して終わりました。



#### Instagramの投稿について

市役所に戻ってきってから、今日撮影した画像や動画の確認をみんなで行い、その中から投稿で使用する画像を選びました。全員がたくさん撮影をしていたので、画像選びにとっても苦労しました。

画像が決まると前回と同じように投稿の本文を考えるグループとハッシュタグを考えるグループに分かれて話し合いました。昨日も考えたおかげか今回はスムーズに決めることができました。



## 令和3年度 第6回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和3年8月12日（木） 9時30分～16時30分
- 2 場 所 青森市役所 議会棟4階 第1・第2委員会室
- 3 出席者 会場参加：子ども会議委員12名、子どもサポーター2名、事務局4名
- 4 活動内容 (1)三内丸山遺跡の撮影  
(2)青森のラーメンの撮影  
(3)三内縄文ベリーランドの撮影  
(4)Instagramの投稿について

### 5 開催概要

計画していた撮影は順調に進み、夏休み中の撮影は今日で終わりです。最終日は、三内丸山遺跡、青森市のラーメン、三内縄文ベリーランドの撮影を行います。

#### 三内丸山遺跡の撮影

7月27日に三内丸山遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」は世界文化遺産登録が決まり、ちょうど注目が集まっていました。到着してすぐに体験工房でミニ土偶作り、まが玉作り、組み紐作りの3つを体験しました。ミニ土偶作りではけんりはかせの顔をした土偶を作ったり、まが玉づくりでは丸くツルツルにするのに苦労したり、組み紐作りでは均等な編み目を作るのが難しかったりなどありましたが、高校生委員のサポートを受けながら、小・中学生委員がものづくりを通して縄文時代を楽しみました。

次に、実際に遺跡の撮影に行きました。三内丸山遺跡のボランティアガイドをしている子どもサポーターに案内をお願いして、竪穴建物跡、大人の墓、大型掘立柱建物跡、貯蔵穴、捨て場などの遺跡内を回りました。案内の中で、遺跡の建物は発掘されたものをもとに想像して復元していることなどの説明がありました。遺跡を見るだけではわからなかった情報を知ることができて、とてもためになりました。

ひと通り見学・撮影した後に、みんなでソフトクリームを食べながら休憩しました。栗の味がする「ソフト栗夢」や青森市のおでんでは定番のしょうがみそがかかった「しょうがみそアイス」などがあり、しょうがみそアイスを食べた委員は「意外と合う！」とびっくりしていました。





### 青森のラーメンについて

青森のラーメンでお馴染みの煮干しラーメンと味噌カレー牛乳ラーメンを食べるために、お昼は3グループに分かれて、「ひらこ屋 崑ぼし」、「長尾中華そば」、「かわら」のラーメン屋に行きました。

ラーメンをあまり食べたことがない委員や行ったことのないラーメン屋に行った委員は、今回で新しい発見があったみたいです。青森市はラーメン屋がたくさんあるので、Instagramを使って青森のラーメンについてもPRしたいと思います。



### 三内縄文ベリーランドの撮影

本日最後の撮影は、三内縄文ベリーランド（観光農園）に行きました。この施設は行ったことがない人が多く、みんなが楽しみにしていました。三内丸山遺跡や三内西小学校などの近くにあり、カシス色ののぼり旗が目印になっています。車の中からもベリーがたくさんなっている様子がわかり、降りる前からとてもワクワクしていました。

ベリーランドの代表の方に案内してもらいながら、練乳を片手にベリーを食べて回りました。同じブラックベリーでも、甘酸っぱい品種や甘味が強い品種があったほか、ラズベリー、ワイルドベリーなどたくさんの種類のベリーを食べ比べすることができました。

無農薬で栽培しているのに、蜂やカメムシなどの虫も多かったです。虫たちも美味しいのが分かっているから食べに来るのかなと思いました。

おすすめの食べ方は、練乳をつけたりヨーグルトに入れたりもありますが、生で食べるのが一番だそうです。このほか、農園を始めたきっかけやベリーを育てる中で気をつけていることなど、たくさんの質問に答えていただきました。

生のベリーをたくさん食べて、最後にはベリーとオレンジのミックスジュースと、ジェラートで締めました。どれも美味しくて、ついつい写真や動画を撮るのを忘れてしまうほどでした。三内縄文ベリーランドをまずはたくさんの人に知ってもらって、そして足を運んでもらうために魅力発信を頑張ります。



### Instagramの投稿について

市役所に戻り、三内丸山遺跡と三内縄文ベリーランドの Instagram の投稿について考えました。みんなが撮影をたくさんしていて、画像が多く選ぶのに時間がかかってしまうため、今日は投稿文とハッシュタグについて考えました。みんなも慣れてきた様子でスムーズに話し合えました。

これにて夏休みの撮影はおしまいです。今回撮った動画を編集して Instagram に投稿していくこととなります。

## 令和3年度 第7回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和3年8月21日(土) 9時30分～12時30分
- 2 場 所 青森市役所 議会棟4階 第1～第4委員会室
- 3 出席者 【青森市】会場参加：子ども会議委員8名、子どもサポーター3名、事務局6名  
オンライン参加：子ども会議委員2名  
【奈良市】子ども会議委員11名、サポーター2名、  
ファシリテーター2名、事務局3名
- 4 活動内容 ・奈良市とのオンライン交流会  
(1) 開会  
(2) 自己紹介、記念撮影  
(3) 奈良市の発表  
(4) グループワーク①  
(5) 青森市の発表  
(6) グループワーク②  
(7) 閉会  
・今後の活動について

### 5 開催概要

以前から子ども会議でやりたいこととして挙がっていた「他都市の子ども会議との交流」が、今年  
は奈良市と行えることになりました。コロナ禍ということもあり、オンラインで交流会を行います。

#### 開会

本市の子どもサポーターが交流会の司会を務めました。はじめに、交流会の流れとグループワー  
クの3つの約束について説明し、交流会がスタートしました。





## 自己紹介

まずは、交流会に参加している人全員が自己紹介をしました。

本市の小・中学生委員からは、奈良市のことはあまりわからないので、この交流会を通じて詳しくなりたいという意見のほか、高校生委員からは去年修学旅行で奈良市に行くはずだったが、新型コロナウイルス感染症の影響で修学旅行がなくなったので、今回の交流が楽しみだったという意見がありました。

奈良市の委員からは、青森市についてあまり詳しくないという意見がほとんどだったのでお互いについて知るいい機会になりそうだと思います。

自己紹介が終わるとスクリーンショットによる記念撮影を行いました。奈良市の委員は背景を設定している人が多く、オンライン参加に慣れている様子でした。

## 奈良市の発表

奈良市の事務局から、奈良市子ども会議の今年度の活動について説明がありました。今年度のテーマは、「みんなどうしてる？with コロナの過ごし方」で、新型コロナウイルスの感染が広がって気軽に外出などができない中で、毎日をより楽しく過ごすためのアイデアをグループごとに考えたそうです。

みんなが「おうち時間」を楽しく過ごすヒントになるように、今日発表してくれる内容をさらにレベルアップして、奈良市のホームページでアイデア集として今後公開するそうなので楽しみです。

〈教えてもらったお家時間の過ごし方〉

### 【Aグループ】

- ・読書をする → 知らない世界の主人公になれる
- ・ゲームをする → オンラインで友人と繋がれる・嫌なことを忘れる
- ・音楽を聞く → リラックス・感動できる

### 【Bグループ】

- ・生活の中にスポーツを取り入れる（スポーツ観戦、部活動に向けて実際に動いてみる）
- ・家族の時間を大切に（家族と電話する、ペットと過ごす） → 元気が出る
- ・手作りに挑戦する（オリジナルレシピを考えて料理する） → 美味しいと言われるとうれしくなる

### 【Cグループ：家で気軽に楽しくなる】

- ・友達とチャットする → 直接会わなくてもリアルタイムで連絡を取り合える  
大人数や遠くの人と繋がれる  
相手の様子が分かって自粛期間の気持ちも和らぐ
- ・筋トレをする → 部活動が中止になったので筋力強化、ドーパミンでネガティブを撃退できる、病気の予防にもなる
- ・植物を育てる → 部屋のインテリアとしても置ける、気持ちがリラックスするし愛着がわく  
（おすすめ：水につけるだけで育つアボカド、育ちやすい豆苗、簡単に収穫できる落花生  
ロシアンルーレットみたいなドキドキが味わえる青唐辛子）

### 【Dグループ：退屈しないお家時間】

- ・友達と話す（LINE 通話） → 時間や使用料金を気にせず通話ができる  
話題を共有して笑い合えるため気持ちが明るくなる
- ・好きなものを一気に見る → 全力で漫画やアニメ、本などを楽しむことで退屈な時間を面白い  
時間に変える
- ・筋トレでみんなムキムキ → 適度な運動で気分転換、休みを利用して部活動の仲間と差をつける  
友達に筋肉を自慢してびっくりさせる

### 〈アイデア集を見てくれる人へのメッセージ〉

- ・普段の生活の質を変えて、こんな日々だからこそ楽しもう。
- ・見てくれた人が「コロナを乗り切ろう！」という気持ちになってほしい。
- ・つらい時期かもしれないけど、家でできることで楽しんでストレスを解消しよう。
- ・不安な日々が続きますが、リフレッシュしてこんな日々だからこそ楽しもう。
- ・実践して楽しんでみてください！

複数のグループから挙げられたアイデアは「筋トレ」や「家族や友人と話す」でしたが、各グループによって「筋トレ」を「ムキムキ」と言ったり、テーマごとにアイデアをまとめたりなど、表現方法にも個性が出ていました。

### 筋トレ！ みんなでムキムキになろう



ふだんあまり体を動かさない人でも、運動して気分転換しよう！  
休みを利用して仲間と差をつけよう！  
友だちに筋肉を見せてびっくりさせよう！

### 本を読む



- ・知らない世界を知ることができる
- ・主人公になりきる！そうすると物語が楽しくなる



### 料理をつくろう

- ・オリジナルレシピを  
考えてつくってみた



## グループワーク①

続いて、3グループに分かれてグループワークを行いました。グループワークの司会は、Aグループを奈良市の準ファシリテーターが、BグループとCグループは青森市の子どもサポーターが務めました。

それぞれのグループで、青森市の委員が奈良市の発表を聞いた感想や自分たちのコロナ禍での過ごし方について発言した後、奈良市の委員と一緒にコロナで変わったことや過ごし方の工夫などを話し合いました。

### 〈主な意見〉

- 奈良市の発表を聞いて
  - ・様々な意見があって参考になった。
  - ・おすすめしていたアボカドを育ててみたいと思った。
  - ・奈良市のほうがコロナの状況は大変だと感じた。
- コロナで変わったこと
  - ・旅行や外出が減った。 ・学校行事の規模が縮小された。
  - ・テレビ、ゲーム、スマホ時間が増えた。

### 〈奈良市のファシリテーター 浜田先生から〉

奈良市では、コロナ感染拡大という暗い話題の中、ホームページなどの画面の向こうにいる子たちに元気が出るメッセージを伝えたいということで活動してきました。

新型コロナウイルス感染症が発生したからこそ、オンラインという形で交流し、奈良市の活動の成果や青森市と奈良市の違いについてなど意見交換することができました。子どもたちが広い視野で学び合える良い機会だったと感じています。

## 青森市の発表

休憩をはさみ、青森市からは、今年度の活動テーマである「青森市の魅力再発見！」についてこれまで活動してきた内容を発表しました。

夏休み中には青森市の観光スポットの撮影も行ったので、それらの紹介も合わせて行いました。



## グループワーク②

先ほどと同じグループに分かれて、2回目のグループワークを行いました。今回は、奈良市の委員から青森市の発表に関する感想をもらい、青森市のイメージなどについて話し合いました。また、時間に余裕のあったグループは、お互いの市について気になっていたことなどを意見交換しました。

### 〈主な意見〉

#### ○青森市の発表を聞いた感想や青森市のイメージ

- ・教科書に載っている遺跡があることを知って、青森に行きたくなった。
- ・りんごの生産量が日本一とは知っていたが、ブラックベリーの生産量も1位とは知らなかった。
- ・ねぶた祭やまぐろのイメージが強かった。

#### ○青森市の委員に聞いてみたこと

- ・冬は寒い？雪が降ったら体育とかどうなるの？
- ・遺跡はどれくらいの大きさなの？

グループワークでは、青森市はやはり「りんご」や「ねぶた」のイメージが強いことを実感しましたが、ほかの魅力もあることを伝えることができました。いろいろな魅力を伝えることができたので、奈良市の委員から「行ってみたい」という声を多く聞くことができました。

また、青森市の委員に聞いてみたいことでは、雪や冬の寒さなどについての質問が多かったです。青森市の子ども会議委員から「ふぶきも体験してみて」という提案がありましたが、奈良市の委員から「ふぶきってなに？」という反応があり、吹雪がすぐに思い浮かばなかったことに青森市の委員は驚いていました。奈良市にはスキー場もないらしく、両市の気候の違いを発見することができました。

反対に、奈良市の魅力も教えてもらいました。奈良市は「鹿」や「大仏」のイメージが強かったですが、梅やみかん、柿が有名なこと、あまり知られていないけど大和茶という名産品があること、祭りではおん祭りがあることなどを教えてもらいました。

お互いに初めて知ることが多く、お互いの市に対するイメージが変わりました。

## 閉会

最後に奈良市のファシリテーターから今日の交流会についてコメントをいただき、両市から一人ずつ感想を発表しました。

### 〈奈良市のファシリテーター 浜田先生のコメント〉

今回の奈良市と青森市の交流会は、いろんなことが新型コロナの影響でできなくなりましたが、同時にオンラインが普通になったことで開催することができました。

奈良市と青森市の良さについて話し合えたことで、これまでの固まったイメージではなく、両市の多様な魅力に気づくことができたと思います。今日皆さんが話し合ったことは、まちづくりにもつながるし、自分たちの市がどう見られているのか気づくチャンスにもなったことでしょう。

有意義な時間をありがとうございました。

### 委員の感想

奈良市：青森市のことは全然知らなかったけど、観光名所とかいろいろなことを知ることができて楽しかったです。

青森市：青森市にはない奈良市の魅力を知ることができたし、最後には奈良市の皆さんとも緊張しないで話し合えるようになりました。お互いに子どもの立場から、市をもっと盛り上げていきたいと思います。

オンラインで交流会というあまり慣れない状況でしたが、臨機応変に対応することができて、無事に終了となりました。とても貴重で良い体験だったと思います。

奈良市の皆さん本当にありがとうございました。

### 今後の活動について

奈良市とのオンライン交流会が無事に終わり、今後の子ども会議について事務局から説明がありました。

今後は11月の子ども会議フォーラムに向けた活動と、子どもの権利擁護委員による子どもの権利に関する講義を受ける予定です。



## 令和3年度 第8回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和3年9月26日(日) 9時30分～12時00分
- 2 参加方法 オンラインのみ
- 3 出席者 子ども会議委員4名、子どもサポーター1名、事務局2名
- 4 活動内容
  - ・Instagramの投稿内容について
  - (1)ラーメンについて
  - (2)小学校の給食について
  - (3)ねぶたの家ワ・ラッセについて
  - (4)青森県立浅虫水族館について
  - ・今後の活動について

### 5 開催概要

9月11日と25日に開催する予定だった子ども会議は、新型コロナウイルス感染症のクラスター発生や感染者数が増えたことにより中止になってしまいましたが、オンラインのみの参加にすることで本日開催することができました。

また、奈良市とのオンライン交流会では、奈良市のみんなが「メッセージ機能」を使って気軽に自分の意見を出していたことをまねて、今回のオンライン会議でも「メッセージ機能」を自由に利用することにしました。

高校と中学校ではテストを間近に控えていることもあり小学生委員だけの参加になったので、これまで行った施設等について詳しい意見を聞き取り、新たにInstagramへ投稿します。

#### ラーメンについて

煮干しラーメンで有名な「ひらこ屋<sup>き</sup>そばし」・「長尾中華そば」に8月に行ったメンバーから、実際に食べた感想やお店の雰囲気を教えてもらったり、自分が行かなかったお店の写真を見ながら、行ったお店と違う点などについて意見を交わしました。今度は今回行かなかったお店でも食べてみたいです。

また、普段お家で食べるラーメンでは、「小学生でも作れるから、カップラーメンが一番簡単」、「お母さんが生麺で作ってくれる」などの意見が出たほか、大学生サポーターからは「生麺のほかに袋麺も自分で作ったりするし、逆にカップラーメンは食べないかも」という意見がありました。

好きなカップラーメンでは辛いものやシーフード、カップラーメンに限らなければ、煮干し、しょうゆ、とんこつ味のラーメンがみんな好きでした。

一番最初に「煮干し」と意見があったのは青森ならではだと思います。





## 小学校の給食について

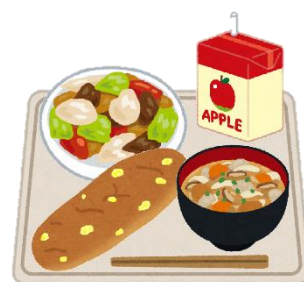
青森市内の小学校の給食には、青森市発祥の味噌カレー牛乳ラーメンも出てきます。「給食はあんまり好きじゃない」と言っていた委員も「味噌カレー牛乳ラーメンは美味しいよ」と言っていました。

また、小さく角切りされたりんご煮が練りこまれたコッペパンや、りんごジュースが給食に出てくるともあります。弘前市の学校に通っている委員は、そんなの食べたことない、と言っていました。県内でも給食に違いがあるのは面白かったです。

このほか、好きな給食のデザートについて盛り上がりました。一番最初に「クレープが美味しい」という意見が出ましたが、事務局の職員さんが「給食に出てくるクレープの想像ができない」と言うので「生地は薄くて、固いクリームといちごのソースが入っているやつ」、「サイズは小さめで半月型だよ」、「お祝いクレープって袋に書かれているの」と教えました。画像を検索してくれたのでみんなで見てみると、「こういうやつだよ!」「え、うちの給食は違うよ?」と同じ給食のクレープでも学校によって違いがあることが分かりました。

クレープのほかには、プリン、りんごやぶどうのゼリー、冷凍りんごなども好きだという意見がありました。冷凍りんごは半分に切られた小さめのりんごで「食べると歯がキーンってなるよね」という意見には「分かる!」と大きな賛同の声が上がりました。

また、事務局の職員さんから「ココアババロアのデザート好きだったな」と発言がありましたが、子どもたちから「今のメニューにないよ」と言われてショックを受けていました。給食センターは平成26年にできたそうなので、今と昔でメニューが違ったり、逆におひな様の日には二層のゼリーが出るなど、昔から同じメニューもあって面白かったです。



## ねぶたの家ワ・ラッセについて

次にワ・ラッセに行った小学生委員で楽しかったところについて意見交換しました。

「ねぶたミュージアムに入る前のホールに飾ってあったジオラマがすごかった」という意外な意見や、「大型ねぶたは迫力があった」、「天井に飾ってあった金魚ねぶたも良かった」、「ねぶた囃子が聞こえてくる通路もすごい」、「ねぶたのお面を自分でつくる体験コーナーは楽しかった」とたくさん意見が出ました。

最後は、写真を見ながら Instagram に投稿する写真はどれが良いかみんなで意見を出し合いました。全員から「このねぶたが良い!」と言われた写真は、女性ねぶた師の北村麻子さんが2019年に作成した『神武東征』という光り輝くトビが特徴的な大型ねぶたで、「色使いも鮮やかで綺麗」、「Instagram に映えそう」と好評でした。



### 青森県立浅虫水族館について

今日参加した委員は、みんな浅虫水族館に行っていたメンバーだったので、水族館の中で特に思い出深かったものや、楽しかったものとして“展示されていたダイオウイカ”や、“陸奥湾をイメージしてつくられたトンネル水槽”、“ジャンプが魅力的なイルカショー”、“ホタテやヒトデを触れたタッチコーナー”などの意見を出し合いました。

特にタッチコーナーでは、「白いヒトデもあって珍しかった」、「ウニはトゲをツツツンしたけど触るのは怖くてできなかった」、「ホタテは貝を閉じるときに水鉄砲みたいに水を発射してくるから注意」など、自分たちの楽しかった思い出を共有しました。

イルカショーでは、「昔見たときは最前列で水がかかってきたけど、今回はほとんど水が来なかったよ」という感想もあり、「水がかからないように注意してショーを行っているのかな」、「もしかしたらイルカが疲れていたのかも」と想像して盛り上がりました。



オンラインのみの開催は今回が初めてでした。オンラインの接続の仕方に慣れていなかったり、話の途中で接続が途切れてしまったり等のトラブルもありましたが、何とか意見をまとめることができました。

今回みんなで出し合った意見や選んだ写真をもとに Instagram へ投稿します。

### 今後の活動について

次回の会議では、Instagram の投稿への反応について話し合うほか、11月6日に参加する「子どもの権利条約フォーラム2021 in かわさき」における青森市の取組発表の資料やシナリオを作成する予定です。

子どもの権利条約フォーラム2021 in かわさきに向けて頑張ります。

## 令和3年度 第9回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和3年10月10日（日） 9時30分～12時00分
- 2 参加方法 オンラインのみ
- 3 出席者 子ども会議委員2名、子どもサポーター1名、事務局2名
- 4 活動内容 (1) Instagramの投稿内容について  
・奈良市とのオンライン交流会について  
(2) 子どもの権利条約フォーラム2021 in かわさきの発表資料について  
(3) 今後の活動について

### 5 開催概要

前回に引き続き、今回もオンラインのみの開催となりました。

会議では、8月に行った奈良市とのオンライン交流会についての感想や、11月6日に参加する「子どもの権利条約フォーラム2021 in かわさき」の資料の準備などについて話し合いました。また、会議の途中でアイスブレイクを行い、コロナ禍にあっても「オンラインだからこそ楽しめること」を実際に体験しました。

#### Instagramの投稿内容について

はじめに、8月21日に行った奈良市とのオンライン交流会のInstagramへの投稿内容について話し合いました。

今回参加した委員は全員奈良市とのオンライン交流会にも参加していたので、それぞれから奈良市の印象や感想について聞き取りをしました。

「奈良市は今年度完全オンラインで活動していると聞いて驚いた」

「自分たちは“まちづくりについて”や“スポーツについて”など複数のテーマで活動しているが、奈良市は1つのテーマに絞って活動しているのが新鮮だった」

「奈良市では雪が降らないことや、冬にスキーができないことなど、冬の過ごし方の違いについて詳しく知ることができた」

「何よりも、言葉の違いに気がついた。奈良市は関西弁ということだったが、大阪、京都、奈良でそれぞれ言葉遣いやイントネーションが違うことを発見できた」

「奈良市の子どもが雪に興味を持ったのは意外だった。自分たちにとって雪は生まれたときから身近にあったものだから、興味を持たれるとは思っていなかった」

「雪遊びってあるの？スキーするの？と聞かれた」

「『ふぶきも体験してみて』と言ったら、『ふぶきってなに？』と聞かれて驚いた。頭の中ですぐに『吹雪』と変換されないくらい聞きなれない言葉だったみたい」



奈良市の子どもたちとの交流では、雪や冬の過ごし方、お互いの地域性の違いなどが印象に残りま

した。

また、Instagram へ投稿するときのキャッチフレーズについても案を出し合い、「どっちも最高です！奈良市 and 青森市オンライン交流会」に決定しました。

### アイスブレイク

今回は新たな試みとして、オンラインだからこそできるアイスブレイクとして、「おうち探索ゲーム」という、お題に沿ったアイテムを指定時間内に家の中から探してくるゲームをしました。

最初のお題の「赤いもの」では、柄の赤いドライバーや小さな郵便ポストの置物、事務室から参加した職員さんは消火器など、みんなが思い思いの物を持ってきてくれました。

続いて、自分が一番を競えるお題を各委員が順番に出していきました。「8文字以上のもの」というお題では、高校生委員が持っていた長いタイトルの書籍、「硬いもの」では事務室の金庫が一番になりました。一番硬いと言われているダイヤモンドを誰も持っていなかったのが残念です。最後のお題は「大きいもの」で、やはり事務室にある大人の身長よりも高いキャビネットが一番になりました。一番になれなかった委員は「長いものだったら負けないのに！」と悔しがっていましたが、良いリフレッシュになりました。



### 子どもの権利条約フォーラム2021 in かわさきの発表資料について

続いて、11月6日に開催される「子どもの権利条約フォーラム2021 in かわさき」で使用する発表資料について話し合いました。

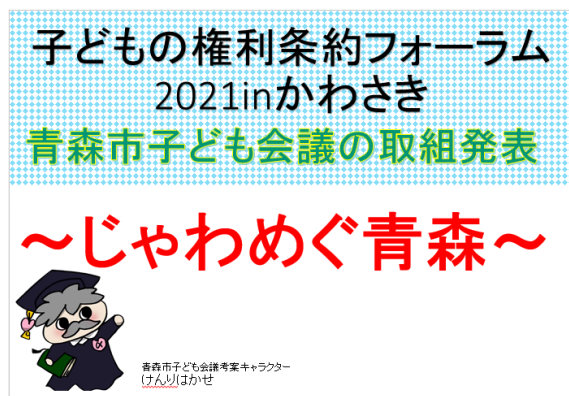
資料は、奈良市とのオンライン交流会で使用したものをもとに作成することにしました。奈良市との交流会の資料では奈良市と青森市のイメージカラーとして緑をベースにしていたのですが、今回は青森市をイメージさせる青や緑をたくさん使用することにしたほか、ねぶたの写真など青森市を象徴するものを活用して作成することになりました。

「子どもの権利条約フォーラム2021 in かわさき」では、全国から12団体が参加し、各団



体の活動を紹介するので、青森市らしさを出すために、最初に津軽弁のあいさつを入れたり、表紙のサブテーマを「じゃわめぐ青森」にしたり、インパクトのある資料を作成したいと思います。

話し合いが進むと、パワーポイントを使える委員から「資料を作成したい」という声が上がったので、次回の会議までに資料を作ってきてもらうことになりました。



ここから  
ブラッシュアップ  
していきます！

#### 今後の活動について

次回の会議では、その資料をもとにみんなで意見を出し合って発表原稿を作成するほか、11月に市民図書館で行う子どもの権利に関する展示のタイトルの検討、11月20日の「青森市子ども会議フォーラム2021」に向けた準備などを行う予定です。

## 令和3年度 第10回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和3年10月16日(土) 9時30分～12時30分
- 2 場 所 青森市役所 議会棟4階 第1委員会室
- 3 出席者 会場参加：子ども会議委員6名、事務局3名
- 4 活動内容 (1)青森市民図書館の展示タイトルについて  
(2)青森市子ども会議フォーラム2021について

### 5 開催概要

新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着き、会場での開催ができるようになったので、久しぶりにみんなで集まって活動を行いました。

#### 青森市民図書館の展示タイトルについて

11月20日の「青森市子どもの権利の日」にちなみ、11月中、青森市民図書館7階で子どもの権利に関する展示を行うことになったので、展示ブースのタイトルについて話し合いました。

7階には絵本コーナーがあるので、小さな子どもを連れて来る人に子どもの権利に興味を持ってもらうほか、それ以外の大人の方の関心も引けるようなタイトルにすることを意識して考えました。

- ①「子どもの権利条例知らないの？」
- ②「知っていますか？子どもの権利」
- ③「知ってる？子どもの権利～子どもにも権利はあるんだよ～」

以上の3つに候補を絞り、今日参加できなかったメンバーにもLINEで聞いて、一番好評だった③の「知ってる？子どもの権利～子どもにも権利はあるんだよ～」に決定しました。



#### 青森市子ども会議フォーラム2021について

続いて、11月20日に青森市議会議場で行う「青森市子ども会議フォーラム2021」について話し合いました。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止になったので、2年ぶりの開催となります。今年度から参加した小学生委員は「子ども会議フォーラム」がどういうものかわからないの

で、参加したことのある高校生委員から説明を受けながら意見を出し合いました。

まず、今年度のタイトルを考えました。タイトルには平成26年度の子どもの権利の日イベントから毎年「FOR CHILDREN」を入れているので、今回もそれは変えないことに決め、「FOR CHILDREN」に続く言葉を考えることにしました。たくさん出た意見を組み合わせたり表現を変えたりしながら、次の3つに候補を絞りました。

- ①「FOR CHILDREN～ぼくの声だって大きいんだ～」
- ②「FOR CHILDREN～わたしも市政に関わっている～」
- ③「FOR CHILDREN～よかったら、ぼくたちの声も聞いてみませんか?～」

図書館の展示タイトルと同じように今日参加できなかったメンバーにもLINEで意見を聞いた結果、③の「FOR CHILDREN～よかったら、ぼくたちの声も聞いてみませんか?～」に決定しました。

次に、チラシのデザインを考えました。事務局が作成したチラシ案を見ながら意見を出し合い、その場で修正しました。チラシに載せる写真は、プロジェクターを利用して撮影した、「子どもたちが『未来』を背負った写真」にしました。色や文字のバランス、イラストなどをみんなで話し合い、子どもらしさあふれる良いチラシができたと思います。



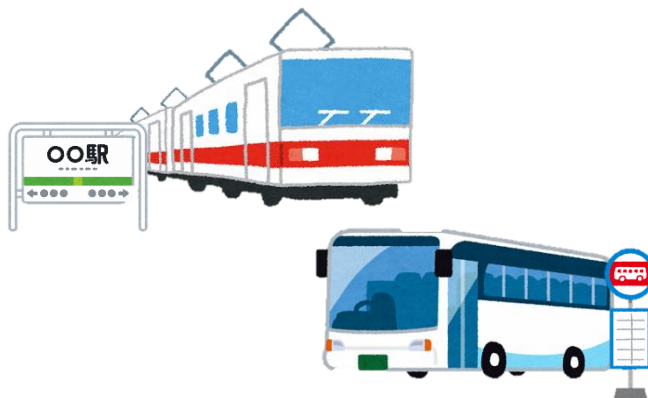
最後に、実際にフォーラムで市へ提案・質問する内容について話し合いました。

これまでの活動を思い出しながら、活動を通して感じたことや、「こうなったらもっと良くなるんじゃないか」と思ったところなどについて意見を出しました。

取材したテイクアウトマーケットでは、開始30分で完売したので、もっと機会を増やしたら良いのではないか、スイーツやドリンクも一緒に販売したらさらに売上も伸びるし、お客さんも一か所でご飯もデザートも買うことができ便利なのではないか、という意見が出ました。



また、撮影した各施設については、事前に交通手段や経路、どのような施設なのかなど、調査してから行きました。特に交通手段を調べるのが難しく、どこから乗れば良いのか、どのバスを使えば良いのかがわかりづらかったという意見が出ました。八戸市の高校に通う委員から「八戸市は行きたい観光施設へ行くためにどのバスを利用すればいいのかわかりやすいよ」と教えてもらい、青森市も主な観光施設に行くためにどのバスを利用すればいいのかわかりやすくなってほしいという意見がありました。



Instagram の投稿では、さらにいろいろな人に見てもらうため、青森市公式 Instagram で青森市子ども会議の投稿を紹介してもらえないかという意見がありました。

これらの意見や関連する質問などについてフォーラムで発表したいと思います。

### 今後の活動について

今回の会議では、子どもの権利擁護委員による子どもの権利に関する講義を受けます。また、11月6日の子どもの権利条約フォーラム in かわさきに向けた準備活動を行います。



## 令和3年度 第11回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和3年10月24日(日) 9時30分～12時30分
- 2 場 所 青森市役所 議会棟4階 第1委員会室
- 3 出席者 会場参加：子ども会議委員4名、子どもサポーター2名、事務局3名  
オンライン参加：子ども会議委員2名
- 4 活動内容 (1)子どもの権利に関する講義  
(2)フォーラムに向けた準備活動

### 5 開催概要

#### 子どもの権利に関する講義

11月20日の「青森市子どもの権利の日」のフォーラム開催前に、青森市子どもの権利擁護委員の沼田徹弁護士を講師にお招きし、子どもの権利について学びました。また、初の試みとして講義の様子をInstagramでライブ配信しました。

沼田先生から「子どもの権利」や「青森市子どもの権利相談センター」についてわかりやすい説明を受けた後、みんなで子どもの権利が侵害されていると感じる身近な事例について考え、共有しました。具体的には学校での出来事が多く挙げられ、特に校則については、小学校や高校に比べて中学校の校則は厳しすぎるのではと議論がはずみました。

今年度から参加した子ども会議委員や子どもサポーターの中には、「子どもの権利」について初めて聞いたという人もいましたが、講義を受けて「勉強になった」「子どもの権利についてよくわかった」という感想が多く、とてもためになる講義でした。



#### フォーラムに向けた準備活動

11月は「子どもの権利条約フォーラム2021 in かわさき」と「青森市子ども会議フォーラム2021」の2つの大きなイベントがあります。それぞれのフォーラムの発表者やディスカッションに参加する人などの役割決めでは、高校生委員の進行によりスムーズに決めることができました。

「青森市子ども会議フォーラム」では、役割分担のほかにグループ分けも行いました。発表資料やシナリオの作成は、残り1か月を切っていて大変ですが、みんなで協力して頑張りたいと思います。

次回の会議では、「子どもの権利条約フォーラム2021 in かわさき」における発表のリハーサルを行います。

## 令和3年度 第12回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和3年10月30日(土) 9時30分～16時00分
- 2 場 所 青森市総合福祉センター2階 旧子どもの権利相談センター
- 3 出席者 会場参加：子ども会議委員7名、子どもサポーター1名、事務局3名  
オンライン参加：子ども会議委員2名
- 4 活動内容 (1)子どもの権利条約フォーラム2021 in かわさきの発表リハーサル  
(2)青森市子ども会議フォーラム2021に向けた準備活動  
(3)Instagramの投稿について  
(4)子どもの権利条約フォーラム2021 in かわさきの事前顔合わせ会

### 5 開催概要

午前にはフォーラムに向けた準備、午後には1週間後に控えた「子どもの権利条約フォーラム2021 in かわさき」に参加される他都市の団体の皆さんと事前顔合わせがあるので、朝から一日を通して活動しました。

お昼には昔から青森市民に親しまれているオムライスで有名な「キッチンカフェびじょん」からお弁当をテイクアウトし、その様子をInstagramへ投稿することにしました。

#### 子どもの権利条約フォーラム2021 in かわさきの発表リハーサル

前回作成した原稿と発表資料を使って、実際に発表のリハーサルをしました。今回の発表の見どころともいえる津軽弁でのあいさつ部分では、津軽弁を話せない小学生委員に代わって高校生委員が読み上げることになり、スラスラと流暢な津軽弁を披露しました。

オンラインで参加した委員には、当日の発表を聞いている人と同じようにスライドを見ながら発表を聞いてもらい、読む速さ、原稿やスライドの内容についてアドバイスをもらいました。青森市の魅力をたくさん詰め込んだ結果、発表時間の5分間を過ぎてしまったので、時間に間に合うように言葉を削ったり言い換えたりして原稿を修正しました。

発表する委員は早口になりすぎないように、本番も頑張ります。



## 青森市子ども会議フォーラム2021に向けた準備活動

青森市子ども会議フォーラム2021で来場者に配布する缶バッジのデザインを小中学生委員が考えました。けんりはかせを使ったデザインや青森の魅力を盛り込んだデザインなど様々な案が出たので、実際に完成する缶バッジが楽しみです。

また、それ以外の委員でフォーラムの発表内容の原稿を考えました。



## Instagramの投稿について

お昼はみんなで「キッチンカフェびじょん」でテイクアウトをしました。お弁当を食べている様子やお店の紹介などをInstagramに投稿することになり、投稿する文章やハッシュタグを考える人、画像加工をする人など、手分けをして進めました。合わせて、これまで投稿できていなかった内容の画像加工を行い、投稿数を増やすことにしました。

さらに、夏休みに撮影した場所の動画も作成しました。去年も動画を作成した高校生委員を中心に進め、短時間でほとんど完成させることができました。



## 子どもの権利条約フォーラム2021 in かわさきの事前顔合わせ会

子どもの権利条約フォーラム2021 in かわさきに参加する各団体の子どもたちの事前顔合わせ会があり、参加しました。夏にオンライン交流を行った奈良市子ども会議のほか名古屋のNPO団体なども参加していて、ほかの団体の子どもたちの雰囲気を感じることができました。

来週はいよいよ本番で、各団体からの発表や、ほかの団体の子どもたちとディスカッションも行います。全国の子どもたちと交流できるととてもいい機会なので、精一杯楽しみたいと思います。





## 令和3年度 第13回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和3年11月6日(土) 9時30分～17時00分
- 2 場 所 青森市役所 議会棟4階 第1・第2委員会室
- 3 出席者 会場参加：子ども会議委員8名、子どもサポーター2名、事務局3名  
オンライン参加：子ども会議委員1名
- 4 活動内容 (1)子どもの権利条約フォーラム2021inかわさきの発表リハーサル  
(2)子どもの権利に関するパネル展の展示物作成  
(3)子どもの権利条約フォーラム2021inかわさき

### 5 開催概要

#### 子どもの権利条約フォーラム2021inかわさきの発表リハーサル

午後に行われるフォーラムの発表リハーサルを行いました。前回の会議でひと通り練習したこともあり、特に問題なく、あとは本番を待って練習通りに頑張ります。

#### 子どもの権利に関するパネル展の展示物作成

11月11日、12日に駅前スクエアで子どもの権利に関するパネル展があるので、そこで展示する青森市子ども会議の展示物を作成しました。全部で5枚分の作成が必要だったので、手分けして作り始めました。いつもは高校生委員にリーダーシップをとってもらいながら進めている小学生委員も積極的に取り組み、すぐに下書きが終わりました。ペン書きや色塗りではみんなの個性があふれていました。午後も引き続き展示物の作成をし、1日でほとんど完成させることができました。残りは明日の会議で完成させます。



お昼はみんなで、「味の札幌 大西」でラーメンを食べました。青森のご当地グルメである「味噌カレー牛乳ラーメン」を食べた委員や、普通のラーメン屋さんではあまりない「納豆ラーメン」などの変わりダネを食べた委員もいて、Instagramの投稿のネタが増えました。



#### 子どもの権利条約フォーラム2021inかわさき

その後、「子どもの権利条約フォーラム2021inかわさき」に参加しました。青森市のほかに10以上の団体が参加しており、全国の子どもたちの活動内容を聞いて良い刺激を受けました。

また、青森市の発表も何回も練習した甲斐あってうまくいき、「津軽弁がかわいい」などの感想をもらいうれしくなりました。発表では、今年度の活動についてと青森市の自慢スポットについて紹介しました。

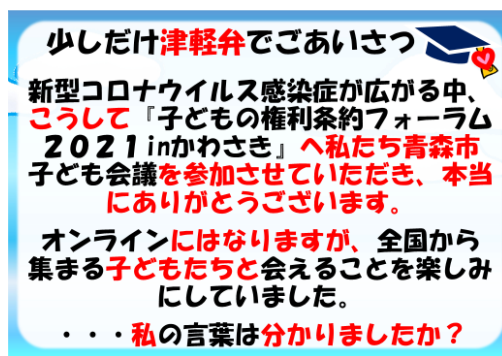


〈津軽弁で披露したあいさつ〉

わんつかばしだども津軽弁であいさつすっじゃ。

コロナが広がったばって、こして、『子どもの権利条約フォーラム2021 in かわさき』さ、わだち津軽の子ども会議ばかだらせてもらってまんずめやぐだっきゃの。オンラインだばって、全国から集まるわらはんどと会えることば楽しみにしてたじゃ。

わの言葉わがったべが。



ディスカッションでは、発表を聞いて気になったことを質問したり、大会スローガンである「手を取りあって、にじいろの未来へ笑顔で歩もう！」について、「にじいろの未来ってどんな未来だろう」と考えたりしました。「差別がない未来」や「みんなで笑いあっている未来」など、それぞれが思うにじいろの未来について意見交換できました。



〈参加した委員の感想〉

- ・すごいと思った発表の仕方を参考にして、次の交流の時は工夫したい。
- ・ほかの県の人たちと子どもの権利条約のことを話して、子どもの権利条約のことをもっと知れたので、参加してよかった。
- ・それぞれの活動内容の良いと思ったところはどんどんまねをして、より良い子ども会議の活動ができたらいいと思う。
- ・様々なアイデアに触れ、とても良い刺激を受けました！

明日も続けて会議を開き、青森市子ども会議フォーラム2021に向けた準備活動を行います。

## 令和3年度 第14回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和3年11月7日（日） 9時30分～12時00分
- 2 場 所 青森市役所 議会棟4階 第1・第2委員会室
- 3 出席者 会場参加：子ども会議委員4名、事務局3名
- 4 活動内容 ・青森市子ども会議フォーラム2021に向けた準備活動

### 5 開催概要

「子どもの権利条約フォーラム2021 in かわさき」が大成功で終わったので、今日からは、青森市子ども会議フォーラム2021に向けた活動に専念します。

#### 青森市子ども会議フォーラム2021に向けた準備活動

今日は、第11回の子ども会議で決めた役割分担に従い、シナリオや資料を作成しました。

シナリオ担当の委員がシナリオの案を考えてきてくれたので、それをもとにみんなで意見を出し合いました。

こうしてできたシナリオをもとに、資料担当の委員がパワーポイントを使って資料を作成し、途中からは、シナリオ担当の委員も一緒に資料作成しました。

最後には、みんなで意見を出し合いながら同時にシナリオにも手を加え、満足のいく資料とシナリオを作ることができました。小学生委員はパワーポイントの操作に苦戦しながらも、高校生委員や事務局の助けを借りて最後まで頑張りました。



今回の会議では、発表練習を行います。

## 令和3年度 第15回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和3年11月13日（土） 9時30分～12時30分
- 2 場 所 青森市役所 議会棟4階 第1委員会室
- 3 出席者 会場参加：子ども会議委員6名、子どもサポーター1名、事務局3名  
オンライン参加：子ども会議委員1名
- 4 活動内容 (1) トークイベントについて  
(2) 青森市子ども会議フォーラム2021の準備

### 5 開催概要

はじめに、2月に開催する予定の子どもの権利に関するトークイベントのトークテーマについて話し合いました。このトークイベントは、例年子ども会議フォーラムの第2部として行っているイベントで、今年度は第1部と第2部を別日に開催し、いつもより内容の濃いものを実施できるよう頑張ります。

今日は、青森市子ども会議フォーラム2021の本番前、最後の活動です。前回の会議で作成したシナリオと資料をもとに、子ども会議フォーラムの発表練習を行いました。

#### トークイベントについて

子どもの権利について話し合うトークイベントに向けて、オンライン参加の委員と小学生委員で、トークイベントで話し合うテーマについて、身近にあったことなどを思い出しながら考えました。

学校や家で理不尽だと感じたことや子どもの権利が侵害されていると思った出来事についてそれぞれで考えた後に意見交換をすると、「わかる!」といった共感の声や、「それとはちょっと違うけど・・・」と次々に話題が出てくるなど、話がとても盛り上がりました。

一人で考えているときには「子どもの権利」の侵害とは気づかなかったことでも、みんなと話し合ううちに「子どもの権利」の侵害では?と思うことが出てくるなど、「子どもの権利」を積極的に意識する機会になりました。



#### 〈主な意見〉

- ・将来の夢や行きたい高校などを、自分の気持ちとは関係なしに反対された。
- ・「頑張ったご褒美に欲しいものを買ってもらえる」という約束を親としたのになかったことにされた。
- ・先生に怒られ「帰れ!」と言われて、本当に帰ったらさらに怒られるし、意味が分からない。
- ・小学校でシャープペンシルを使っていけないのはなぜ?
- ・生徒が忘れ物をしたらものすごく怒るのに、先生が忘れ物しても笑ってすますのはなぜ?



## 青森市子ども会議フォーラム2021の準備

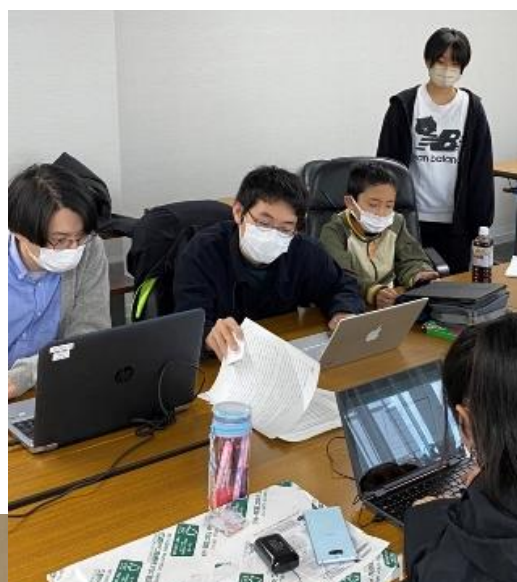
前回の会議で作成したシナリオと資料をもとに、発表練習を行いました。

シナリオは発表時間を考えて内容を少し足したので、小学生委員にシナリオを読んでもらいながら発表時間を再確認しました。時間はちょうどいいことがわかったので、シナリオはほぼ完成です。

それと並行して、発表資料も修正しました。高校生委員とサポーターで手分けをしながら、シナリオに追加した内容の資料を付け加えたりイラストや写真を増やしたりしました。スライドの枚数が多いという意見もあったので、他のスライドとまとめられるところはまとめるなどして調整しました。

時間があっという間に過ぎ、今日は通し練習をすることができませんでした。あとは来週の本番前にリハーサルを行うだけで、ほぼ練習なしに等しいですが、本番に強い自分たちの力を信じて頑張りたいと思います。

最後に、Instagramで子ども会議フォーラムまでのカウントダウンをしようということになり、「フォーラムまであと〇日」という紙を手分けして作成して、動画を撮影しました。Instagramのストーリー機能を使って投稿する予定です。投稿を見た人が、これをきっかけに実際に子ども会議フォーラムに足を運んでくれるといいなと思います。





# 青森市子ども会議フォーラム2021

FOR CHILDREN～よかったら、ぼくたちの声も聞いてみませんか？～

- 1 日 時 令和3年11月20日（土） 8時30分～12時30分
- 2 場 所 青森市議会議場、委員会室
- 3 出席者 子ども会議委員10名、子どもサポーター3名、事務局12名
- 4 次 第 (1) 開会  
(2) 市長あいさつ  
(3) 私たちからの意見提案  
(4) 市長総括  
(5) 閉会

## 5 開催概要

市では「青森市子どもの権利条例」において、毎年11月20日を「青森市子どもの権利の日」とし、この日にふさわしい活動を行うこととしています。青森市子ども会議では、2年ぶりに、子どもが意見を表明し市政に参加する機会である「青森市子ども会議フォーラム」を、市議会議場をお借りして開催しました。

### リハーサル

午前8時30分、みんなでデザインしたお揃いのTシャツを着用し、控え室である委員会室に集まりました。急な変更にもみんなで臨機応変に対応し、無事最終確認を終えてリハーサルを行うことができました。議場でのリハーサルを終えた後は、通し練習よりも各自で原稿を読む練習をしたいとの意見があったので、委員会室に戻ってそれぞれ最後の練習をして、本番に備えました。

そして10時45分、青森市子ども会議フォーラム2021がスタートしました。



### 開会

司会を務める高校生委員から、開会のあいさつと子ども会議の説明がありました。



## 市長あいさつ

あいさつでは、令和元年度の子ども会議フォーラムで子ども会議委員から出された提案や意見に対する成果についてパネルを使用した説明がありました。

運動グループからいただいた「小さな子どもが冬に遊べる場所が欲しい」という意見から、建設予定のアリーナの中に青森県で一番広い面積の子どもが元気に楽しく遊べるプレイルームを設置する予定です。

また、まちづくりグループからいただいた「新町の魅力的に思ったものや面白いものをたくさん広める活動をしていきたい」という提案でしたが、ひとつは今年の7月にワ・ラッセの隣にあおもり駅前ビーチ（通称 A-BEACH）が完成しました。この A-BEACH は、青森駅前でも水遊びやシーカヤックができるほか、アマモという水生生物や小さなお魚も住んでいるので、自然を学ぶことができます。

また、冬には「あおもり冬のワンダーランド」を開催し、雪灯りや雪だるま〜るという灯籠が冬の青森を盛り上げる企画があります。今年が目玉は A-BEACH に世界遺産が登場することです。三内丸山遺跡の六本柱や小牧野遺跡の環状列石などのオブジェが登場しますので、ぜひ宣伝してほしいと思います。



## 私たちからの意見提案

### ① 「Instagram を活用した情報発信について」グループ

〈活動をはじめたきっかけ〉

Instagram を活用しようと思った理由は、新しい生活様式も始まり、おうち時間が増えた今、「多くの人に親しまれている SNS で活動したい」という委員の声があったからです。

また、前回のフォーラムでは「活動を通して新町の魅力的なものや面白い話をたくさん広める活動をしたい」と私たちの意気込みを発表しました。

これらのことを踏まえ、広くいろいろな人に発信できるツールとして、SNS の中でも写真・動画・文字すべてを使って投稿でき、中高生をはじめ、大人にも広く親しまれている Instagram を活用して、いろいろな情報を発信することにしました。



〈これまでの活動内容〉

○記念すべき初投稿「第1回青森市子ども会議」

今年度の活動や抱負を市長へ発表し、そこで小野寺市長からいただいた言葉をきっかけに、「青森市の魅力をどのように発信していくのか」、「どんな内容であれば青森市をもっと盛り上げられるか」を考え、

- 1 観光客向けスポットである「浅虫水族館」、「三内丸山遺跡」、「ねぶたの家 ワ・ラッセ」
- 2 コロナで影響を受けた飲食店や青森のグルメ
- 3 まだまだ知られていない「三内縄文ベリーランド」や「子どもの権利」

についての情報を発信していくことにしました。

それぞれの観光施設へ行くためにはどこのバス停や駅に向かえばいいのか、青森駅から出発する場合にはどのバス停から乗ればいいのか、何時発のバスがあるのかなどを協力して調べましたが、アクセス方法を調べるのはとても難しかったです。

○2・3回目の投稿「ふんばるアオモリ テイクアウトマーケット」

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた飲食業者の皆さんを応援するためのイベントとして、市役所のエントランスを会場に、市内の様々な飲食店のお弁当などを購入できました。

このイベントの主催者である青森商工会議所青年部の方からは開催への熱い思いを、実際に来店した「焼肉きんぎょ」の店長さんからは売上の変化などのコロナの影響について伺いました。

また、このテイクアウトマーケットでは、開始30分もすると連日売り切れが続いていたので、開催する場所や開催回数、期間を拡大すれば市内飲食店のさらなる応援に繋がるように思いました。

○4つの観光スポットの撮影

4回目の投稿「浅虫水族館」、6回目の投稿「三内縄文ベリーランド」、16回目の投稿「三内丸山遺跡」、そして初のショート動画の投稿となった「ねぶたの家 ワ・ラッセ」について青森市子ども会議のInstagramで紹介しました。

以上の活動を踏まえ、4つの質問・提案があります。

- ① 市では、新型コロナ流行により影響を受けた事業者に、どのような支援をしているのか教えてください。
- ② 市内飲食店を盛り上げるため、青森市役所本庁舎サードプレイスを活用したテイクアウトマーケットを実施していますが、このようにテイクアウトマーケットを開催できる場所や開催期間を拡大してはどうでしょうか。
- ③ テイクアウトマーケットでは、食事だけではなく、食後のスイーツやドリンクなども一緒に販売することで、もっと多くの事業者の売り上げ向上につながると思うので、対象となる事業者を増やしてはどうでしょうか。
- ④ 実際に観光施設にバスを利用していくために行き方などを調べていましたが、どの路線のどこのバス停で乗ればよいか、調べるのが難しかったです。初めて青森市に来る観光客でも観光施設へのアクセスを容易にするために、市ではどのような取組をしていますか。

## 市からの回答

(小野寺市長)

②の質問についてお答えします。テイクアウトマーケットは、これまで夏に2回開催していただきました。1つ目のA-BEACHの開催を記念して7月22日から7月24日までねぶたの家 ワ・ラッセを会場に開催した「ふんばるアオモリ「海 BIRTH」テイクアウトマーケット」では、お弁当やハンバーガーなどが好評だったようです。2つ目は、7月26日から8月27日までの土日・祝日を除き市役所本庁舎1階サードプレイスを会場に開催されたテイクアウトマーケットでは、昼はお得なランチ、金曜の夜は青森商工会議所スタートアップセンターでディナーが提供され、いずれも市民の皆さんに好評でした。

皆さんと同じように、多くの市民の皆さんや出店した飲食店の皆さんから「またやって欲しい」という声がたくさんありましたので、青森商工会議所青年部の皆さんが再度立ち上がってくれ、秋に2回実施されました。追加されたのは、市役所本庁舎1階サードプレイスを会場に10月4日から10月29日までの土日・祝日を除き毎日開催された「帰ってきた！ランチテイクアウト」と、青森市役所駅前庁舎(アウガ)1階駅前スクエアを会場に11月15日から11月19日まで開催された「青森飲食店お弁当市」の2つです。

今回、皆さんにも利用していただいたテイクアウトマーケットの開催場所や開催期間の拡大に関するご意見は、主催者である青森商工会議所青年部の皆さんと相談していくとともに、市としても引き続き公共空間を活用した「まちの魅力向上」につながる取組を進めていく予定のため、その際はぜひ子ども会議委員の皆さんにInstagramを使って取材していただきたいと思います。

(総務部 舘山部長)

③の質問についてお答えします。これまでに開催されたテイクアウトマーケットでは、それぞれのお店が工夫を凝らした多彩なお弁当のほかにも、フルーツサンドやわらび餅といったスイーツを販売したお店もあったと聞いています。

しかし、皆さんも学校などで教えてもらったと思いますが、飲食する場面での感染リスクがあるため、販売する商品は、持ち帰って食べてもらえるテイクアウト商品に限定されているところです。

今回、皆さんからご提案があったテイクアウトマーケットの販売品目にスイーツやドリンクを加え、対象事業者を増やしたらどうかというご意見は、利用する側から見れば、食事と一緒にスイーツやドリンクも一緒に購入できるようになり利便性が向上しますし、販売する側から見れば売り上げの向上につながるのではないかと思います。

ご利用いただいた皆さんの意見は、主催者である青森商工会議所青年部の皆さんや出店した事業者の皆さんに伝えるとともに、市役所本庁舎をはじめとする公共空間を利活用する取り組みを進める際にも参考とさせていただきます。





(経済部 横内理事)

④の質問についてお答えします。「青森市観光ナビ」というアプリは、誰でも簡単にダウンロードすることができ、アプリの「施設情報」から、「ねぶたの家ワ・ラッセ」や「八甲田ロープウェイ」など各施設の営業時間や料金といった情報を見ることができるほか、「ルート検索」機能を使うと、現在地から目的地までバスや電車を使った行き方や料金などを調べることができ、青森市をよく知らない方でも簡単に行きたい場所に行けるようになっています。

スマートフォンやタブレットで見ることのできるアプリや電子データのパンフレットはとても便利なことに加え、直接人と接することがないため、新型コロナウイルス感染症の対策にもなることから、多くの皆さんに利用してもらえるよう、今後、新青森駅の観光案内所や「ねぶたの家 ワ・ラッセ」のほか、「縄文の学び舎・小牧野館」、「三内丸山遺跡 縄文時遊館」等へチラシを設置するなど、さらなる普及を目指していきます。



(経済部 百田部長)

①の質問についてお答えします。主な取組として、1つには多くの事業者の皆さんが広く感染拡大の影響を受けているため、飲食業だけではなく、飲食店に材料を販売している卸売業や、食料品や衣料品を販売している小売業など19の業種に対して、お店を続けていくために必要な家賃のほか、空気清浄機やアクリル板の設置、フェイスシールドの購入など、感染防止対策に必要な費用を支援する「事業継続支援緊急対策事業」を実施しました。

2つには、ホテルや旅館などを運営する事業者の皆さんへの支援として、国内外から観光客を呼び込むために市と一緒に活動してきた団体に加入している37施設を対象に、一施設当たり300万円を上限に、建物の面積に応じて支援を行う「宿泊施設支援緊急対策事業」を実施しました。

3つには、市民の生活を応援し、消費活動の活発化に繋がるよう1万円で1万3千円分の商品券が購入できる「青森市プレミアム付商品券」を約28万人の市民全員に行き渡るように発行しました。

このように、新型コロナウイルスの影響がある中であっても、市・事業者・市民の皆さんが一丸となって、マスク着用や消毒などの基本的な感染防止対策を徹底しながら普段どおりの生活ができるよう、市としても事業者の皆さんにより効果的な支援に努めていきたいと考えています。



#### 回答を受けての感想 (子ども会議委員)



Instagramでの活動は、素直な感想をそのまま投稿するよう心がけたので、投稿を見た人が私たちにより近い感覚でその場所に行ってみたいと思えるような内容にできたと思います。

また、テイクアウトマーケットは1回分しか紹介できなかったのも、もしまた開催するときにはもっとInstagramで発信したいと思いました。

「青森市観光ナビ」アプリは、私たち以外にも知らない方々がいると思うので、青森市だけでなく県外の方々にも発信して、「このアプリを使用したことでスムーズに観光ができた。また青森市に来たい！」と思ってもらえるようにしたいです。

## ②「奈良市とのオンライン交流会を通じて気づいたことについて」グループ

〈活動をはじめたきっかけ〉

今年度の活動について話し合ったところ、何人かの委員から「他都市と交流したい」という声があがりました。新型コロナの流行により、オンラインが普通になった今だからこそ、オンラインを利用して他都市の子どもたちと気軽に交流することができました。

〈これまでの活動内容〉

### ○8月21日奈良市子ども会議とオンライン交流会

初めてのオンライン交流会となった、奈良市子ども会議との交流会では、「みんなどうしてる？with コロナの過ごし方」と「お互いの市の魅力」の2つをテーマに意見交換しました。

1つ目のテーマ「みんなどうしてる？with コロナの過ごし方」では、奈良市の子どもたちから、おうち時間を楽しく過ごすために「筋トレや音楽に合わせて身体を動かす」、「料理をつくる」、「リモートで家族や友人とつながる」、「ペットとのふれあいの時間を増やす」などいろいろな方法で楽しんでいることを教えてもらいました。

こうしたオンラインを通じた交流を行うことにより、住む地域の違ういろいろな人の意見を聞きながら、コロナ禍であっても毎日楽しく過ごしていきたいと思います。

2つ目のテーマ、「お互いの市の魅力」では、お互いの市の魅力や良さについて紹介し合いました。お互いに知らなかった魅力を伝え合ったことで、それぞれの市が持っている特徴や良さなどを再認識することができ、とても良い機会になりました。

また、奈良市の子どもたちが青森市について特に興味を持ったのは「雪」や「冬の寒さ」についてでした。奈良市では雪がほとんど降らないため、青森市に住む私たちが当たり前だと思っていたことが、奈良市の子どもたちには当たり前ではなかったということを知った瞬間です。

このオンライン交流会を通して、私たち子ども会議委員は、自分たちがほかの地域からどのように見られているかを知り、「自分たちの当たり前」は、実は「当たり前」なのではなく、それがイコール「青森市の魅力」であることに気づくことができました。

### ○11月6日子どもの権利条約フォーラム2021 in かわさき

「子どもの権利条約フォーラム2021 in かわさき」にはオンラインで参加し、北は青森から南は沖縄まで、全国の12団体と活動紹介や意見交換などの交流をすることができました。

大阪府や川崎市の子ども会議では、「なんでやねんすごろく」や「こどもゆめ横丁」など、それぞれの地域に合わせた活動をしていて、とても面白かったです。ほかの市の活動内容で良いところはどんどんまねをして、より良い子ども会議の活動を目指したいと思いました。

また、子どもの権利の普及啓発のために川崎市がこれまで取り組んできた20年間の活動聞き、「子どもの権利とは何か」、「子どもの権利を広めるためにはどうしたら良いか」などについて改めて考えるきっかけになりました。私たちは、10月24日に「子どもの権利に関する講座」をInstagramでライブ配信しました。今後、この講座を受けて考えた意見や感想などについても投稿し、少しでも多くの人に「子どもの権利」について考えてもらえるように活動したいと思います。

以上の活動を踏まえ、私たち子ども会議委員から3点の質問・提案があります。

- ① 市では、市外の人に青森市の魅力を発信するために、どのような取組を行っているのか教えてください。
- ② 新型コロナ流行後、市が観光PRの情報発信をする上で気をつけていることがあったら教えてください。
- ③ 子ども目線で青森市の魅力を発信するため、青森市公式Instagramに、子ども会議がInstagramに投稿した内容も一緒に掲載するなど、子ども会議の活動を積極的に発信してはどうでしょうか。



### 市からの回答

(小野寺市長)

①の質問についてお答えします。青森市に観光に来てくれるお客様にリンゴやカシスなど青森市の魅力的な産品を発信するために青森市はいろいろな取組をしています。私自身が一番大事だと思いを込めているのは、トップセールスです。トップセールスとは、私(市長)自身が先頭に立って青森市の魅力や青森産品をPRし、ぜひ青森市に観光に来てくださいと活動することです。やはり青森市のリーダーが発信することで、「青森市の人たちは心から歓迎しているよ」、「青森市はこんな魅力があるよ」ということを一番に伝えることができます。このトップセールスという仕組みはたくさんの街でも取り組んでいますが、とりわけ青森市でも力を入れています。



例えば、来週11月28日には、東京都板橋区の「イオンスタイル板橋店」にお邪魔して、三村申吾知事と一緒に青森のリンゴやカシスそれからホタテなどの海産物に加えて青森県全体のPRを毎年させていただいています。12月4日には愛知県名古屋市で直接、また三村知事と一緒にPRします。来年1月になると、沖縄県南風原(はえばる)町の「イオン南風原店」でPRをしたり、沖縄のテレビ局や新聞社さんなどを直接訪れて青森の魅力を沖縄の皆さんに伝えたりする活動を長く続けています。ずっと続けることで、沖縄の人にも青森ファンという方や毎年待っているよという方がたくさんいらっしゃるので、「お店に今年も来てくれてありがとう」という声を頂いたりします。

このほか青森空港に直接つながっている名古屋空港、大阪空港、神戸空港などの飛行機の便を活かしてぜひ青森に直接きてくださいとPRしています。新型コロナウイルス感染症の影響で今は海外に行けませんが、コロナ前は台湾・中国や韓国にも直行便がありました。新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着いたらこうした海外のお客様もまた青森市に来ていただけるようにトップセールスに努めていきたいと思っています。

全国の人、世界中の人に青森市ファンをたくさん作っていきたくと思っています。皆さんの活動が多く、青森市ファン獲得につながるよう期待しています。

(経済部 横内理事)

②の質問についてお答えします。青森市内の観光施設や宿泊施設では、利用される皆さんの安全・安心を確保するため、「三つの密の回避」や「人と人との距離の確保」などの感染防止対策を行っており、これらの感染対策については、青森市や各施設のホームページ、それぞれの観光施設内にポスターを掲示するなどして、利用される方に安心して楽しめる施設であることをお知らせしています。



また、国では観光する方に対して、マスクの着用や手洗い・消毒、間隔を空けるなど、旅行する際に感染症防止対策として気をつけるべき内容を「新しい旅のエチケット」としてまとめ、これを守っていただくようお願いしています。

市でも観光客へ青森市の PR をするときには、「新しい旅のエチケット」に関するお知らせを忘れずにお伝えしています。

このように、青森市の観光施設や宿泊施設等では感染症対策を徹底し、利用者に安全・安心を提供しておりますので、子ども会議の皆さんも市外のお友達や知り合いの皆さんに「新しい旅のエチケット」に気をつけていただきながら、安心して来ていただくよう、青森の PR をお願いします。

(福祉部 福井部長)

③の質問についてお答えします。皆さんが投稿してくれた子ども会議の Instagram には、青森市で行われたイベントや観光地の情報、身近にある素敵な場所など、子どもならではの視点から撮影された魅力あふれる投稿が見られます。



Instagram では、皆さんがオンラインで意見交換を行った奈良市などの市外の方をはじめ、子ども会議の活動を直接見たり、聞いたりした方以外にもその活動を知ってもらうことができるため、特に皆さんのような若い人たちにとって非常に有効な情報発信の方法ですので、今後も継続してもらいたいと思います。

一方、市では、令和2年4月1日から青森市公式 Instagram アカウントを開設しており、何気ない日常や自然等の写真や動画を投稿し、本市の魅力を随時発信しています。

また、青森市公式 Instagram アカウントをフォローしていただいている方が見つけた市内のおすすめスポットや素敵な風景、日常の一コマ等に、「#あおもり日和」または「#aomori\_days」をつけて投稿していただくと、その投稿の一部を、当アカウントで紹介していますので、子ども会議のアカウントで投稿するときに、そのようなハッシュタグをつけて投稿していただくことで、青森市公式 Instagram で紹介していきたいと考えています。

子ども会議の活動は、皆さんが育った青森市を今以上に好きになってもらい、青森市のファンを増やすことにつながっていると思いますので、引き続き、皆さんと一緒に、青森市の魅力を発信するとともに、活動内容の効果的な発信方法を考えていきたいと思っています。



### 回答を受けての感想（子ども会議委員）

他都市の子どもたちと交流したことで、いろいろな考え方のほか、他都市の活動や魅力について詳しく知ることができました。また、先ほど答弁していただいた新型コロナウイルス流行後に観光施設で行っている対策など、青森市に住んでいる私たちでも知らなかった取組を知ることができました。



今日のフォーラムで新しく学んだことを活かし活動をたくさん頑張っていきます。本日は私たちの声を聞いてくださりありがとうございました。

### 市長総括

子ども会議の皆さん、発表ありがとうございました。そして、青森市の街づくりのためにとても大事な提案をたくさんいただきました。次回の開催では、皆さんの提案を踏まえてさらに一歩進みましたよ、とご紹介できるよう我々一同頑張りたいと思います。

2つのグループに共通したことで1点感想を述べさせていただきます。2つのグループどちらも新型コロナウイルス発生前にはこのような発表になるとは予想だにしない発表だったと思います。青森市は新型コロナが発生して直ちに、皆さんの学校での学びを守るために遠隔授業としてオンラインで授業を受けられる体制を整えました。新型コロナウイルスの感染対策は大変なことです、それでも皆さんの教育の水準が特にICT情報機器を使って大きく進歩したことはひとつの証でもあります。今日の発表を聞いて、改めてそう感じました。我々やお父様お母様よりもパソコンやオンライン、スマートフォンを使って普通に仕事や学習ができる皆さんの強みを生かし、これからも学校でもお互いの子ども会議の活動でもICT情報機器を使いこなして、青森の魅力PRや自分を高めてほしいと思います。



本日は皆さん、ご参加誠にありがとうございました。

以上で子ども会議フォーラム2021が無事終了しました。ハプニングにも落ち着いて対応でき大成功で終わることができました。



## 令和3年度 第16回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和3年12月4日(土) 9時30分～12時30分
- 2 場 所 青森市総合福祉センター2階 旧子どもの権利相談センター
- 3 出席者 会場参加：子ども会議委員5名、子どもサポーター1名、事務局2名  
オンライン参加：子ども会議委員1名
- 4 活動内容 (1)トークイベントについて
  - ・イベント内容やトークテーマについて
  - ・周知チラシについて(2)青森市子ども会議フォーラム2021のアンケート報告  
(3)今後の活動について

### 5 開催概要

青森市子ども会議フォーラム2021が大成功のうちに終わり、最初の活動となります。

今日は、子どもの権利に関する「トークイベント」の開催に向けて詳しく話し合いました。



#### トークイベントについて

現在決まっているのは、「令和4年2月6日(日)の10時から12時まで、青森駅前スクエアを会場にトークイベントを開催すること」、「子どもの権利擁護委員の先生3名にご協力いただけること」です。擁護委員の先生たちとも一緒に盛り上がるような企画を考えたいと思います。

はじめに、トークイベントの形式を「ディスカッション(自由討論)」と「ディベート(討論ゲーム)」でどうするか意見を出し合ったところ、「2グループに分かれてそれぞれの立場から話し合えるディベート形式の方が楽しく話し合えそう」という意見が多かったので、ディベートをメインにすることになりました。一般の子どもたちからも参加を募って、一緒にトークするのが楽しみです。

トークのテーマは、各委員から出された「相手と自分の権利、どっちが大事?」、「男らしく、女らしくじゃなくて自分らしくが大事だと思う。性別“らしく”することって良いこと?悪いこと?」のほか、これまで感じた「子どもの権利が侵害されていること」などを学校の身近なテーマ例として提示し、イベント当日、参加者が興味のあるものにしようとの意見が出されました。

なお、「子どもの権利が侵害されていること」の例としては、これまで「将来の夢や自分が行きたい高校を反対された。自分の気持ちは無視するの?」、「小学校でシャープペンシルを使っていけないのはなぜ?便利な筆記用具を使っても良いと思う。」などの意見が出されています。次回の会議でもさらに意見を出し合ってどんなトークイベントにしたいか話し合いたいと思います。

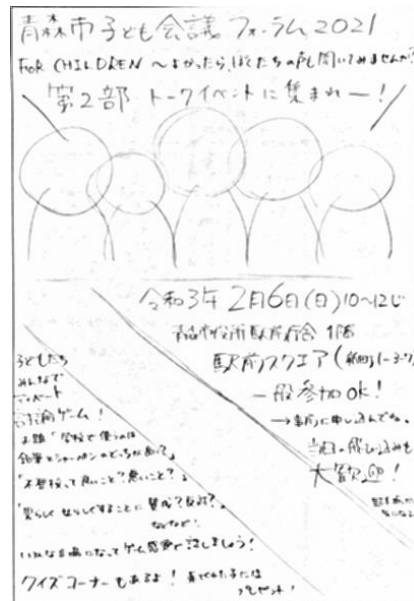
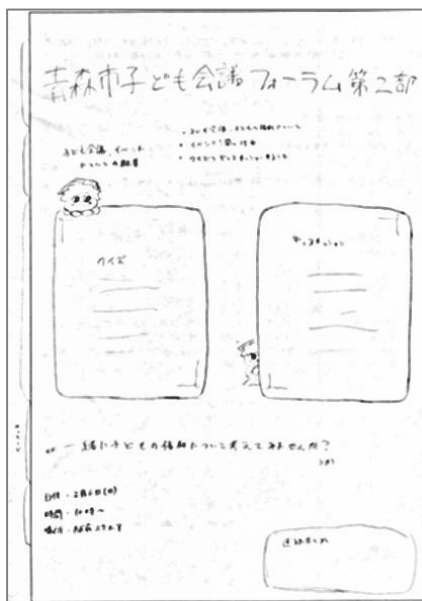
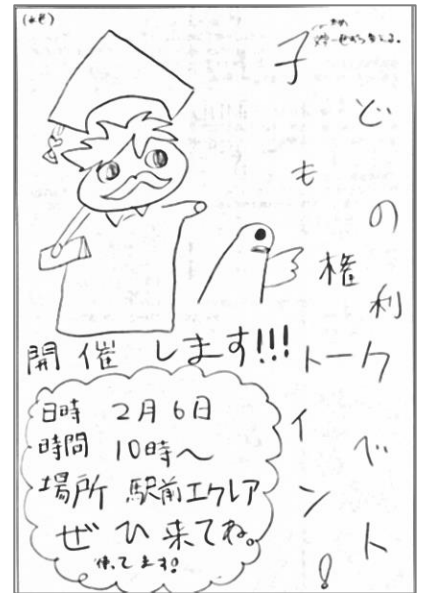
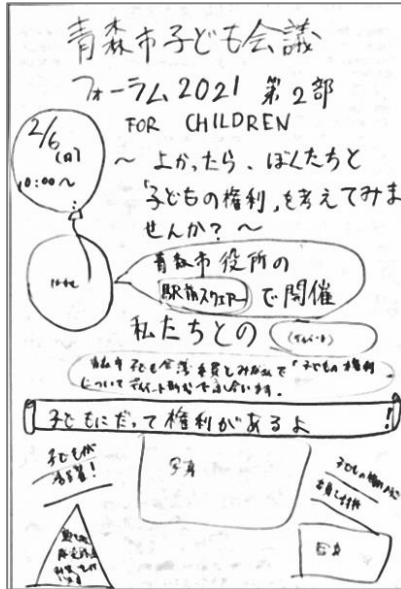
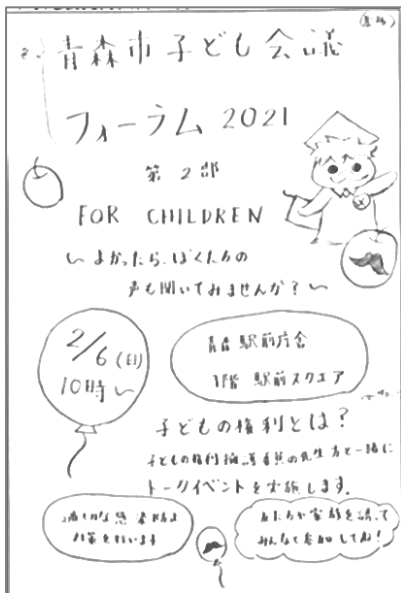
このほか、トークイベント会場で行う展示企画について、小・中学生委員から「みんなが参加しやすいクイズをやりたい」、「けんりはかせのPRができるパネルの展示はどうだろう」などの意見が出されました。

次に、トークイベントのチラシに使う、みんなが来てくれそうなサブタイトルを考えました。子ども会議委員からは、

- ・子どもにだって、権利があるよ
- ・子どもの権利についてみんなでしゃべろう
- ・子どもの権利って何だろな？
- ・子どもの権利について一緒に考えてみませんか？
- ・集まろう、子どものおしゃべり会

など、たくさんの案が出されましたが、今日参加できなかった委員の意見も聞くため、LINE で投票してもらった結果、「子どもの権利について一緒に考えてみませんか？」に決まりました。

最後に、チラシデザインについて話し合いました。委員からは、「子ども会議フォーラムの続きとして開催するのであれば、フォーラムのデザインと一緒にの方が良い」、「全く別のデザインでも目立った方が良くはないか」などの意見があり、具体的なチラシの構成案も作成してくれました。次回の会議でこれらをもとに検討していきたいと思います。





# 青森市子ども会議フォーラム2021のアンケート報告

11月20日のフォーラムに来てくれた人たちから回収したアンケート結果について事務局から報告がありました。

アンケートに回答してくれたのは子どもが30%、大人が70%くらいで、全体の参加者からみても大人の割合が大きかったです。

「子ども会議フォーラム」や「子どもの権利条例」を知ったきっかけについては、学校から配付されたチラシやリーフレットのほか、広報あおもりで知った人が合わせて半分以上いたので、子どもの権利の普及・啓発のため、これからは学校を通じたチラシやリーフレットの配付、広報あおもりへの記事の掲載を続けたいと思います。

今後、青森市子ども会議のInstagramで投稿してほしい内容としては、「子ども会議フォーラムで紹介された『観光ナビ』などの便利なアプリの情報」や、「子どもが参加できるイベント情報」、「青森のおすすめスポットについて」などの意見があったので、参考にしていきたいです。

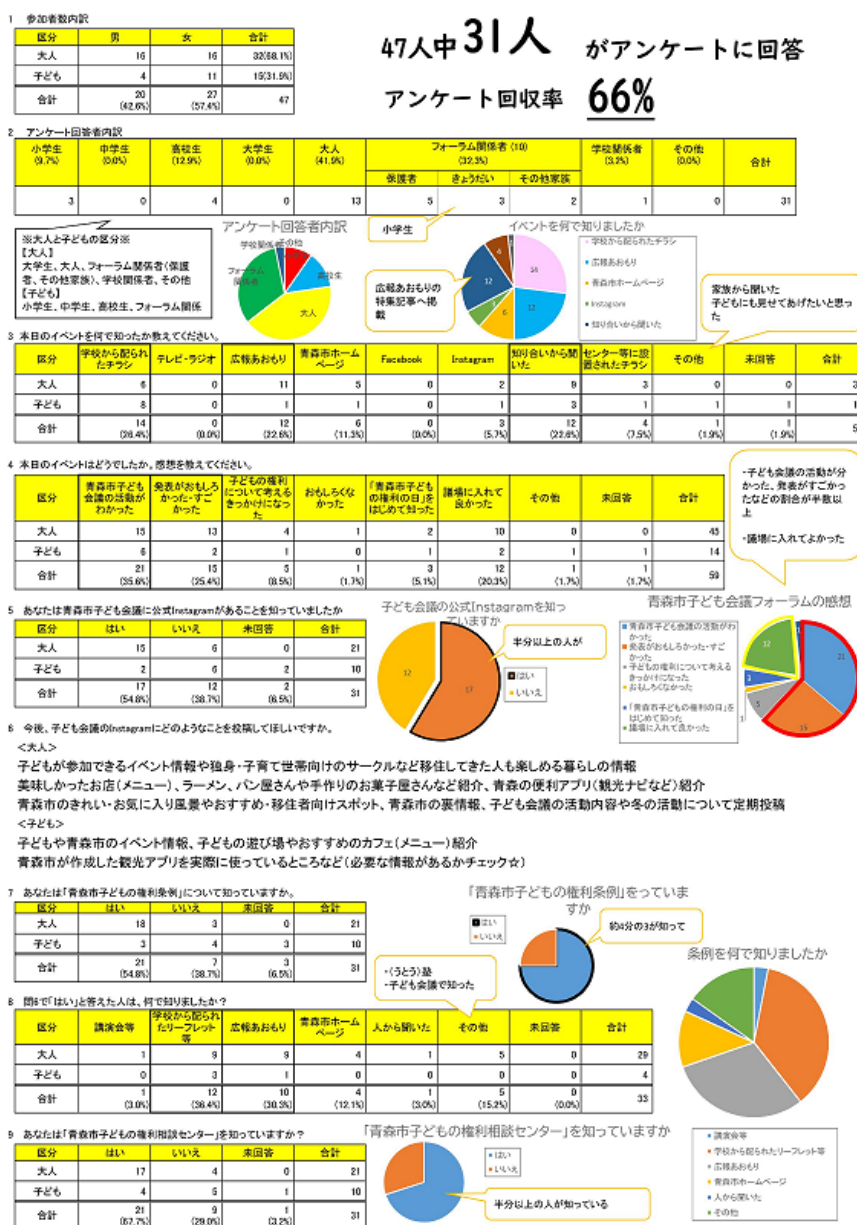
また、子ども会議フォーラムを見た感想として、「青森市子ども会議の活動がわかった」、「発表が面白かった・すごかった」と60%以上の人が思ってくれました。このほか、「堂々とした発表が印象的だった」、「一生懸命な姿に感動した」、「立派だった」、「しっかりとまとまった良い発表だった」、「発表が上手だった」などの感想をもらえてうれしかったです。今後も、私たち子ども会議の活動をもっと広く知ってもらうために頑張りたいと思います。

## 今後の活動について

トークイベントの開催に向けて、さらに準備を進めます。

次回の会議ではチラシデザイン決定、当日のタイムスケジュールや会場のレイアウト、展示内容などについて具体的に決めていきます。

### アンケート集計結果（青森市子ども会議フォーラム2021）





## 令和3年度 第17回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和3年12月19日(日) 9時30分～12時30分
- 2 場 所 青森市総合福祉センター2階 旧子どもの権利相談センター
- 3 出席者 子ども会議委員6名、子どもサポーター2名、事務局2名
- 4 活動内容 (1) 2月6日の子どもの権利トークイベントについて
  - ・周知チラシ、ポスターデザインの決定
  - ・トークイベントの詳細について(2) 今後の活動について

### 5 開催概要

2021年最後の子ども会議です。

今日は、前回の子どもの会議に引き続き、来年2月6日に開催するトークイベントの周知チラシやポスターのデザイン、イベントの内容などについて話し合います。

#### 2月6日の子どもの権利トークイベントについて

前回の会議で出された意見をもとに作成したチラシとポスターのデザイン案を見ながら、みんなで修正点やもっといいアイデアはないかなど話し合いました。

また、チラシデザインで使用する写真を撮りました。「動きがあるポーズの方が映えると思う」という声があったので、片手ガッツポーズや両手を開いたポーズ、両手を上げたポーズなどをみんなで取ってチラシに載せる写真を選びました。

デザインについては、みんなから「文字の色がもっと濃いほうがいい」「背景の色はもっと鮮やかに」など積極的に意見が出され、満足のいくでき栄えに仕上げることができました。印刷ができ上がるのが楽しみです。



**子どもの権利を一緒に考えてみませんか?**

2/6日 10時～12時  
駅前スクエアに  
集まれー!

みんなで  
討論ゲームとトーク&トーク  
学校の身近なテーマについて自由に話そう!  
「小学校で使うのはえんぴつ? シャーペン?」  
「置き箱することに賛成? 反対?」 などなど  
テーマは自分たちで当日決定!

2月3日(木)まで事前申込受付中

クイズなどのお楽しみコーナーも!

【討論ゲームへの参加について!】  
・小学生以上高校生以下の子が参加できます。  
・参加料は無料です。  
・令和4年2月3日(木)までに電話、FAX、メールなどで必要事項について取ってください。  
<必要事項>お名前、年齢(学年)、連絡先

【主催】 青森市子ども会議  
【問合せ・申込先】 青森市子育て支援課(青森市子ども会議事務局)  
TEL: 017-734-5320 FAX: 017-763-5678  
Mail: koushin@city.awamori.lg.jp

【会場】 青森市役所駅前庁舎(アウガ)1階  
駅前スクエア(青森市駅前1丁目3-7)

トークイベントでは、2つの立場から話し合うディベートと、子どもの権利擁護委員の先生3名と一緒に自由にトークする2部構成で実施することとし、参加者には好きなトークテーマ、形式に参加できるようにしました。具体的な時間配分やルールはインターネットでも調べて決定しました。



**テーマを決めよう**  
～学校の身近な『?』～

小学校で使うのは、えんぴつとシャーペンどっち?  
えんぴつの濃さはHBと2Bのどっちが良い?  
「置き勉」ってあり?なし?  
男の子・女の子“らしく”いるのに賛成?反対?  
学校にも化粧してくるのはあり?なし?  
授業の板書を写真で撮るのはあり?なし?  
(ノートには自分で書かないで写真を貼る)

**グループを決めよう**

自分の意見とは違うグループに入ってもOK!  
どっちでも良い人は、人数が少ないグループに入ってくれるとうれしいです。

**トーク&トーク**  
～学校の身近な『?』～

学校で過ごして「?」と思ったことや、「むっ」としたことなどを自由に話そう!

制服、給食、持ち物、将来の夢、進学先の希望、先生、忘れ物などなど

(例:  
シャーペンを使ったらダメって言われた。  
キャラクターの筆箱を持ってきたらダメなの?  
給食を全部食べるまで許されないのはキツイ。  
将来の夢とか、進学先は自分で決めたい。  
頭ごなしに否定されるとつらい。  
生徒が忘れ物をしたおこぼれ、先生が自分で忘れ物をしてもらってごまかして終わるのはひどい。  
先生が「もう帰れ」って言ったから帰ったのに、「なんで帰っているんだ!」とさらにおこられた。 )

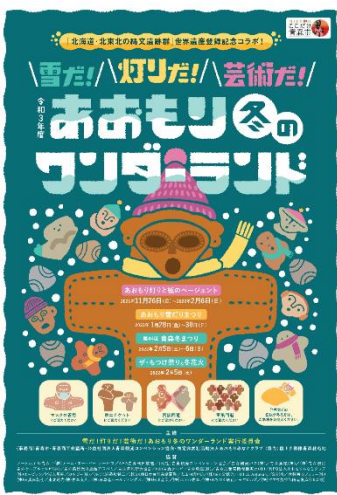
また、展示コーナーでは、事務局から会場である「駅前スクエア」のレイアウトを教えてもらいながら、実際に何を展示するのか、クイズの問題をどうするのかなど、みんなで考えました。

写真を見せてもらいましたが、「駅前スクエア」の会場がどんな場所なのかピンと来ない委員が多かったので、次回の会議では実際に「駅前スクエア」会場の下見をして、本番当日たくさんの人に来てもらえるように、準備を整えていきたいと思います。

**今後の活動について**

1月8日の会議では、青森市子ども会議フォーラム2021で小野寺市長から教えていただいた「あおもり冬のワンダーランド」を実際に訪れ、青森市の冬の魅力を発信できるような撮影を目指します。また、以前の子ども会議委員が作成した「青森市中心商店街おすすめCAFE」マップを活用し、新町商店街の魅力を再発見していきます。

このほか、2月6日のトークイベントに向け、「駅前スクエア」の下見や、実際のクイズなどの展示物作成など、やりたいことが目白押しです。準備が加速していく中、2022年も引き続き、子ども会議の活動を頑張っていきます。



## 令和3年度 第18回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和4年1月8日（土） 13時00分～16時00分
- 2 場 所 青森市役所本庁舎議会棟4階 第1・第2委員会室
- 3 出席者 子ども会議委員3名、子どもサポーター2名、事務局2名
- 4 活動内容 (1) あおもり冬のワンダーランド
  - ・青森市子ども会議公式 Instagram にて発信(2) 「青森市中心商店街おすすめ CAFE」 マップのお店訪問
  - ・青森市子ども会議公式 Instagram にて発信(3) トークイベントについて
  - ・会場の下見(4) 今後の活動について

### 5 開催概要

年が明け、2022年最初の活動は、青森市子ども会議フォーラムで小野寺市長から教えていただいた「あおもり冬のワンダーランド」の見どころの1つ、A-BEACH に登場した大型掘立柱をモチーフにした「三内丸山遺跡の六本柱」の見学と、平成31年度の青森市子ども会議で作成した「青森市中心商店街おすすめ CAFE&SPOTS」に掲載されたお店の訪問です。

それぞれの魅力を存分に発信できる写真を撮って、青森冬のワンダーランドをPRできる内容や新町商店街を盛り上げる内容を Instagram へ投稿したいと思います。

#### あおもり冬のワンダーランド

横殴りの雪が吹き付ける中、雪深いA-BEACHにみんなで飛び込みました。「三内丸山遺跡の六本柱」では、小学生委員の身長と比べたり、環状列石をモチーフに並べられた「雪だるまーる」では、円の中心に立ってポーズを決めたりなど、Instagramに投稿する写真や動画を撮影しました。

また、奈良市とのオンライン交流会で、奈良市の子ども会議委員の興味・関心を強く引いたのが「青森の雪」でした。今日は大粒の雪が降り、時にはホワイトアウトするほどの吹雪となっていたので、雪の動画を撮影するにはぴったりです。

この機会に他都市へ青森の雪をPRできる動画も作成し、今後、子ども会議公式 Instagram で雪の魅力を発信していきたいと思います。





## 「青森市中心商店街おすすめ CAFE」マップのお店訪問

平成31年度の青森市子ども会議では、「青森市中心商店街おすすめ CAFE&SPOTS」という新町商店街周辺のおすすめスポットを紹介するマップを作成していました。今日は、このマップに掲載されているお店を久しぶりに訪問し、現在の様子を Instagram へ投稿することで、新町商店街を盛り上げたいと思います。

はじめに、掲載されているお店の“今”として、Instagram へ投稿するお店を3店選びました。今日は、昔からある有名な喫茶店「自家焙煎の店 喫茶マロン」、子ども会議委員から好きなお店だと声が上がった「ウィーン菓子 シュトラウス」、アスパムのアップルパイでも有名な「洋菓子店 赤い林檎」に行き、それぞれ食べたいものを選びたいと思います。

1軒目。「シュトラウス」は、新町通りにある甘精堂本店が展開する喫茶店です。高級感のある店内にはザッハートルテ、アップルフェルシュトゥルーデル、カシスケーキ、クラシックチョコケーキなど、おいしそうなケーキがいっぱい並んでいました。あおり冬のワンダーランドの撮影で体がとても冷えていたので、店内でケーキを食べました。

### ・ザッハートルテ

「シュトラウスのザッハートルテは SNS で見たことがあったので、食べられてよかった。」「チョコレートの舌触りが良く濃厚で美味しかった。最初からついてきたクリームも甘さ控えめで食べやすい。」



### ・アップルフェルシュトゥルーデル

「注文するときに噛みそうな名前が面白くて記憶に残りそう。サクッとした生地の中に林檎とナッツ、レーズンがたくさん入っていておいしかった。」「甘酸っぱかったので、アイスと一緒に食べると絶対美味しいと思う！」



### ・カシスケーキ

「甘酸っぱくて爽やかな甘さがとても美味しかった。見た目も宝石みたいにキレイなのでおすすめ！」「このカシスケーキが個人的に一押し！」



### ・クラシックチョコケーキ

「チョコレートが濃くて、苦いけどちょっと甘かった。オプションでクリームを添えてもらった方が美味しい！」「クリームは普段食べている生クリームと違って甘さ控えめなのに味があるような、不思議な味だった。」



高級感のある店内もとても素敵で、まるでオーストリアにいる気分になりました。いつもと違う気分を味わいたい人はぜひ行ってほしいです。小学生委員はケーキを口いっぱいにはおぼって、とても幸せなひとときを過ごしていました。



2軒目。「喫茶マロン」は階段を上り、2階にあります。店内には振り子時計や昭和レトロな看板、キャラクターのフィギュアなどが所狭しと飾られており、お店の中を見ているだけでも楽しくなりました。また、席も外が見えたりソファ席があったり半個室みたいに区切られていたり、いろんな雰囲気味わえるのでどの席に座るか選ぶのも楽しいと思います。今回はモンブラン、モカロール、ショコラ、チーズケーキ、かぼちゃのプリン、くるみとレーズンの手作りクッキーをテイクアウトし、会議室に戻ってから試食しました。



- ・モンブラン

「目をひかれた真っ黄色なクリームに食欲がそそりました！マロンクリームと内側のクリームの相性も最高。スポンジもしっとりで美味しかった。」

- ・モカロール

「さすが喫茶店のケーキという感じでコーヒーの香りと味がしっかりあって美味しかった。クリームたっぷりですぐ食べごたえがありました。」

- ・ショコラ

「甘さも控えめであっさり。男の人でも食べやすいと思う。」

- ・チーズケーキ

「昔ながらのチーズケーキ！という外見。見た目よりも甘かった。」

- ・かぼちゃプリン

「ぎっしりと詰まっていてボリュームが凄い。かぼちゃの甘みがとてもやさしかった。」

- ・クルミとレーズンの手作りクッキー

「とても厚みがあって甘食に近い見た目かも。クッキーのサイズじゃない大きさ。くるみとレーズンが意外に入っていて、サクッと食感でした。」

3軒目。「赤い林檎」では、アップルパイも有名ですが、今日はお店のショーケースで目に付いた、プリン・カスタードシュークリームと、焼き菓子の花咲く林檎、イヴの林檎、エデンの林檎をテイクアウトしました。

- ・手作りのやさしいプリン

「かわいいひよこのイラストが印象的。名前のおり優しい甘さで食べやすく、どちらかという甘めのキャラメルソースがたっぷりですぐ食べ応えがありました。」

- ・カスタードシュークリーム

「しっとりした生地にはバニラビーンズが入ったカスタード。甘さが控えめでさっぱりする大人な味でした。市販のシュークリームのほうが甘く感じると思う！大きさもちょうど良かった。」

・花咲く林檎

「林檎のマドレーヌ。生地がなめらかで食べやすい。林檎の砂糖漬けの酸味と甘みのバランスが良くてサッパリ食べられる焼き菓子」

・イヴの林檎、エデンの林檎

「イヴの林檎はホワイトチョコが、エデンの林檎にはブラックチョコレートがかかっているアップルグラッセ。ねっちに近い食感が良かった。酸味はそんなになくて食べやすい。個人的にはホワイトチョコのイヴの林檎がおすすめ！」



今日訪れたお店の魅力をうまく発信できるように、Instagram への投稿内容を考えたいと思います。

### トークイベントについて

2月6日（日）は、青森市役所駅前庁舎1階の駅前スクエアで、子ども会議委員が主体となってトークイベントを開催します。会場の下見を行い、トークイベントスペースと展示スペースの区分や、実際のテーブルとイスの配置、当日の流れなどについて話し合いました。また、当日の自分たちの役割についても話題になり、各自当日のイメージを膨らませていました。

トークイベントのクイズコーナーで、「りんごについてもクイズを出したい」という意見があったので、駅前庁舎の近くにあるお店で「ひめりんご」と「とき」の2種類のりんごを買いました。このりんごを使って、年度当初にやりたいと声があがった食べ比べ企画も進めたいと思います。どういう風に手を加えるか、次の会議で話し合うのが楽しみです。



### 今後の活動について

2月6日（日）のトークイベントに向けて、さらに準備を進めていきます。次回の会議では、これまで考えたクイズや展示物の作成や時間があったらディベートの練習をするなど、本番に向けて準備作業を行います。

## 令和3年度 第19回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和4年1月29日(土) 9時30分～12時15分
- 2 参加方法 オンラインのみ
- 3 出席者 子ども会議委員4名、事務局2名
- 4 活動内容
  - (1) 子どもの権利トークイベントの中止について
    - ・ Instagram への投稿内容
  - (2) 令和3年度 青森市子ども会議活動報告会について
    - ・ 記念品等について
  - (3) 令和4年度 青森市子ども会議委員募集チラシについて
    - ・ デザイン募集
  - (4) 今後の活動について

### 5 開催概要

新型コロナウイルス感染症感染予防のため、今回からしばらくの間、子ども会議をオンライン開催にすることとしました。



#### 子どもの権利トークイベントの中止について

2月6日に開催を予定していた『子どもの権利トークイベント』は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により中止となりました。

このため、前回作成したイベントチラシとポスターを『中止のお知らせバージョン』に加工しました。中央には目立つように黄色と赤で大きく「中止」と吹き出しを配置しました。また、「中止になってごめんね、という気持ちも入れたい!」との委員からの強い声を受け、チラシには「Sorry…」という文字と、けんりはかせの友だちの青い鳥を配置したことで、親しみの持てるデザインになりました。

中止の決定については、チラシをInstagramに、ポスターを青森市ホームページに掲載することで広く周知し、トークイベントへ申し込んでくれていた皆さんには個別に連絡しました。





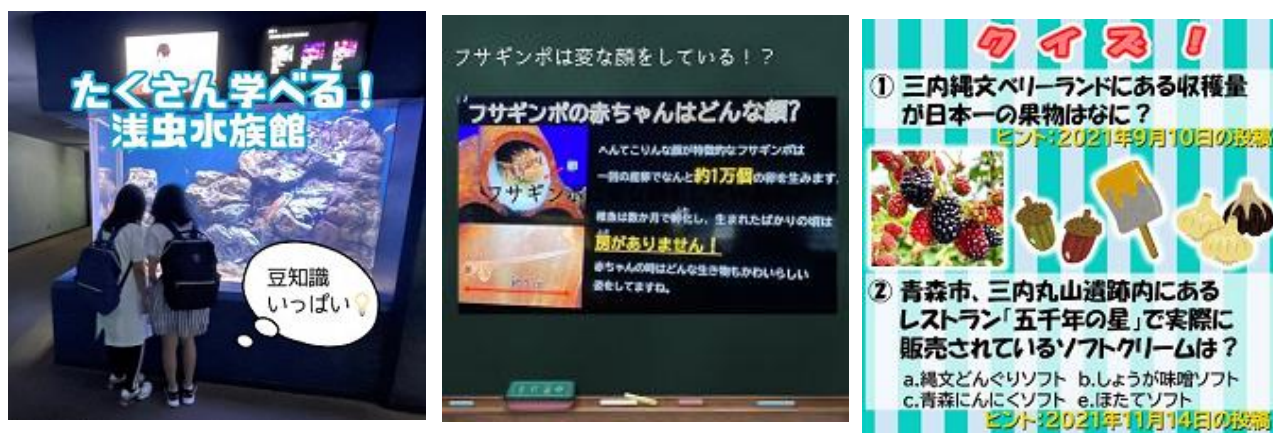
また、中止のお知らせに加え、子どもの権利トークイベント当日に実施する予定だったクイズをInstagramへ投稿し、見てくれた人を楽しんでもらうことにしました。クイズは、前回の会議で話し合った問題のほか、浅虫水族館で学んだ海の生き物豆知識をもとにみんなで考えました。

ほとんどのクイズの答えは、これまでのInstagramの投稿をヒントにできましたが、ヒントになる投稿がないクイズもあったので、ヒントに活用できる新たな内容を投稿することにしました。

Instagramへは、トークイベントを開催する予定だった2月6日に投稿します。

トークイベントが中止になったのは残念ですが、イベントを楽しみにしてくれていた皆さんがこのInstagramのクイズを見て面白いと思ってくれるといいなど、いまからドキドキしています。

前回の会議で買ったりんごに関するクイズは、別の機会にInstagramへ投稿したいと思います。



### 令和3年度 青森市子ども会議活動報告会について

例年、活動報告会では卒業委員やサポーターに、キーホルダーや似顔絵色紙など子ども会議の記念になるものをプレゼントしてきました。このことについてみんなで話し合った結果、今年度は、キーホルダーとミニアルバムを作成することになりました。

キーホルダーのデザインは、次回の会議までにみんなに考えてきてもらいます。

ミニアルバムは、これまでの活動の中で思い出深いものや全員が写っている写真などをみんなから募集して、その中からピックアップして作成することにしました。

<小学生委員が考えたデザイン案：けんりはかせと〇〇>





## 令和4年度 青森市子ども会議委員募集チラシについて

来年度の子ども会議委員とサポーターを募集するときに活用するチラシのデザインも考えることにしました。

みんなからは、「委員募集を目立たせる」「文字は少なめ」「アットホームだったり、楽しそうな活動の雰囲気が分かる言葉や写真」「いろんな場所に取材に行ける、調査活動をするなど、どんな活動を行うのか具体的に分かるキーワード」「いろんな年齢や違った学校の人と交流できる」「写真を活用」などたくさんの意見が出ましたが、市内の生徒一人一人に配付されるチラシなので、「パッと見て目を引いたり、どんな活動をしているのかが分かるデザインが良い」と意見がまとまりました。

子ども会議委員とサポーターを募集するチラシのデザインも、次回の会議までにみんなから提出してもらうことになりました。

## 今後の活動について

今年度の活動として予定していた青森市内を実際の観光者目線で配信する「リモートツアー（旅行疑似体験）」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施を2月に延期していましたが、1月からの感染拡大状況を受けて中止になりました。

そこで、子ども会議では、リモートツアーに替えて、青森市の魅力を発信し、観光客を呼び込めるようなショート動画を複数 Instagram に投稿することになりました。

これまでの活動で撮影してきた素材をフル活用し魅力を発信することで、青森市をもっと盛り上げていきたいと思います。

最後に、会議終了まで少しだけ時間があったので、以前も行った「お家探しゲーム」をやりました。今回のお題は「長いもの」「穴が空いているもの」「長くて固いもの」の3つでしたが、どれも小学生委員が優勝しました。

次回の会議では、活動報告会と来年度の委員募集について話し合う予定です。今年度の活動も残り2か月、時間を大切に頑張ります。



## 令和3年度 第20回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和4年2月19日（土） 9時30分～12時40分
- 2 参加方法 オンラインのみ
- 3 出席者 子ども会議委員6名、事務局2名
- 4 活動内容 (1) 令和3年度 青森市子ども会議活動報告会について
  - ・発表内容について
  - ・記念品等について(2) 令和4年度 青森市子ども会議委員募集チラシについて
  - ・デザイン決定(3) Instagram への投稿内容について
  - ・「雪遊び」の魅力(4) 今後の活動について

### 5 開催概要

2月に入って1回目の会議です。新型コロナウイルス感染症の影響で今回もオンライン開催となりましたが、ひとり一人の顔を正面から見られるし、オンラインだからこそ時間の合間を縫って参加できるという委員もいるので、完全オンラインも楽しかったです。

3月の活動報告会まで残り少なくなりましたが、できる限り準備を進めていきたいと思えます。



### 令和3年度 青森市子ども会議活動報告会について

今年度は、他都市とのオンライン交流や子ども会議フォーラムなどで、私たち子ども会議の活動内容は何度も発表してきました。委員からは、「活動報告会でも、これまでの経験を活かして発表したい」との声が上がったので、スライドを活用しながら発表することに決まりました。

ただし、新型コロナウイルス感染症の影響もあるので、第1回会議のときと同様に代表の委員数名が会場、そのほかの委員はオンライン参加になりそうです。オンライン参加でも、今年度の活動の感想など市長に一言求められたときに答えられるように準備を進めたいと思います。

活動報告会で説明に使うスライドは、「青森市子ども会議フォーラム2021」の資料をもとに作成することにしました。子ども会議フォーラムのときは配付資料として印刷したものを渡していましたが、今回はスライドで見せる形になるので、文字の数や大きさなどに気を配り、見やすくわかりやすいスライドにしたいと思います。また、スライドの背景は、フォーラムのときと同じように「空」をテーマにけんりはかせの友達の青い鳥を配置するなど、明るいイメージにしたいと思います。

今日話し合った内容をもとに事務局でスライド案を作成してくれることになったので、次回の会議ではそれを使って話し合いを進めたいと思います。

次に、記念品のキーホルダーのデザインについて話し合い、市長へプレゼントするスペシャルバージョンと委員用の2種類のデザインを製作することにしました。

どちらのデザインにも「けんりはかせは絶対入れたい！」という声が多数だったので、それぞれ、けんりはかせをメインにしたデザインに決めました。

市長用のデザインでは、「けんりはかせが市長に風船を渡す感じ」「風船にありがとうございます、などのメッセージを入れる」「子ども会議一同、みたいに子ども会議の文字を入れたい」、「青森市の文字は小さくて良い」、「青森市じゃなくて Aomori City にしても良いかも」などの意見をもとに、高校生委員がデザインを考えてくれることになりました。

委員用のデザインでは、「けんりはかせのほかにもりんごや風船のモチーフを入れたい」、「キーホルダーはデザインに沿って切り抜いた形にする」、「子ども会議という文字を入れる」、「イラストは手書き風に」などの意見をもとに高校生委員がいくつかデザインを考えてくれることになりました。

それぞれ、次回の会議でデザインを確定したいと思います。



**大募集!**

青森市  
子ども会議  
委員  
サポーター

4月 日( )まで

年齢や学校も違う  
友だちができる!

自分たちの声  
まちづくりに役立つ!

たくさん経験できる!

いろんな場所を  
調査できる!

Instagram も投稿!  
フォローしてね

【提出先】青森市福祉部 子育て支援課  
〒030-0801 青森市新町 1-3-7 駅前庁舎3階  
TEL: 017-734-5320

Q. どうやって活動するの?  
A. 令和5年3月まで毎月1~2日くらい  
1回につき3時間くらいで土日を中心に  
青森市役所会議室などで活動

Q. だれでもなれるの?  
A. ①と②にあてはまる人ならだれでも OK  
①青森市内に住んでいるまたは市内の学校に通っている  
②令和4年4月1日に小学校5年生~18歳  
※高校在学中であれば18歳以上も OK

Q. 応募方法は?  
A. 裏面の申込書を書いて提出

**写真**

## 令和4年度 青森市子ども会議委員募集チラシについて

次に、令和4年度の子ども会議委員とサポーターを募集するチラシのデザインを話し合いました。「青森市子ども会議のチラシと言えば、黒板風の背景だと思う」という意見と、「白地の方が色もはっきりわかるから目立つと思う」の2つの意見がありました。多数決を取ったところ、背景は白地という意見が少しだけ多かったので、両方の意見を合体して、全体を白地にし、タイトル部分に黒板風のデザインを取り入れることにしました。

また、チラシに掲載する写真は「いろんな場所に調査に行ったときの写真」という意見や、「緊張を与えない、楽しそうな写真」、「活動の様子がわかるような写真」、「わいわい、アットホームな雰囲気分かるような写真」などの意見が出されたので、イメージに合った写真をみんなで選んで、次回会議で決定することにしました。

チラシを見た人の興味を引くような言葉として、「年齢や学校が違う友だちができる」、「みんなで仲良く活動している」、「いろいろな経験ができる」、「青森市のまちづくりに貢献できる」、「いろんな場所に調査に行ける」、「自分たちの声を市長に提案できる」などたくさんの意見が出ました。これらの意見をまとめ、チラシには「年齢や学校のちがう友達ができる!」、「青森市のまちづくり、PRに貢献できる!」、「いろんな場所で調査(遠足)できる!」など3つの言葉を記載することにし、スペースに余裕があれば、「たくさん経験できる」や「自分の声で提案できる」なども記載したいと思います。

また、活動の詳細の説明は Q&A 形式で記載することにしました。次回の会議でチラシデザインを決定します。

## Instagram への投稿内容について

今年度の活動の一つである Instagram への投稿ですが、今回は奈良市子ども会議のみんなが興味を持ってくれた「青森市の雪」について投稿したいと思います。

「雪遊びと言えば?」と委員みんなに聞くと、「雪合戦」、「雪だるま」、「かまくらづくり」、「スキー」、「スノーボード」がすぐに思いつきました。また、イベントや祭りの雪遊びとしては、「バナナボード」、「雪像」、「大型すべり台」、「学校の登下校中だったら、凍っている道路をスケートみたいに滑ったり、水たまりの薄い氷を割ったりするのも楽しい」、「まっさらな雪に面白いポーズでダイブして人型を取る」など、たくさんの雪遊びがありました。

これらの中から Instagram に投稿できそうな内容として、今年、委員がもう既に写真に残していた「雪だるま」と「かまくら」を選びました。雪合戦も楽しそうでしたが、動画に撮るのが難しそうなので、今回は見送ることとしました。

かまくらの写真では、自分が入れるくらい大きいサイズで作っている小学生委員がいて驚きました。かわいらしい3段雪だるまや委員の妹がかまくらに入ってポーズをとっている楽しそうな写真などと一緒に、雪遊びの楽しさを投稿したいと思います。

## 今後の活動について

次の会議では、次年度の委員募集チラシが完成します。活動報告会のスライドや発表内容、キーホルダーのデザインなども、ほとんど決定できるくらいの勢いで進めていきたいと思っています。



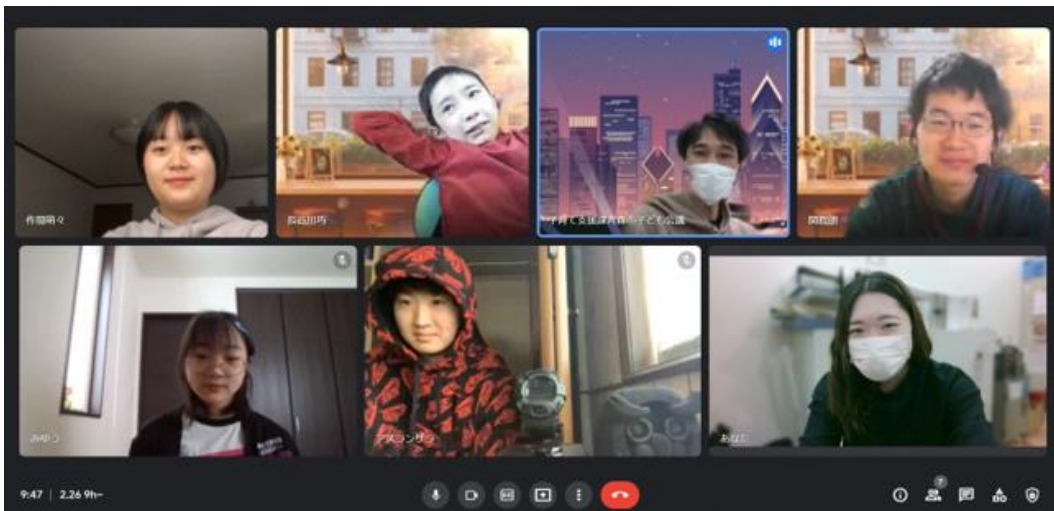
## 令和3年度 第21回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和4年2月26日（土） 9時30分～12時30分
- 2 参加方法 オンラインのみ
- 3 出席者 子ども会議委員5名、事務局2名
- 4 活動内容 (1) 令和3年度 青森市子ども会議活動報告会について
  - ・発表内容について
  - ・記念品等について(2) 令和4年度 青森市子ども会議委員募集チラシについて
  - ・デザイン決定

### 5 開催概要

2月に入って2回目の会議です。今回もオンラインでの会議となりますが、活動報告会に向けて準備を進めていきたいと思えます。

オンラインの会議にもすっかり慣れて、以前よりも活発に意見を出し合えるようになってきました。



#### 令和3年度 青森市子ども会議活動報告会について

前回の会議をもとに事務局が作成したスライドを確認しながら、今回は、来年度子ども会議の活動としてやってみたいことについて話し合いました。

委員からは、今年度に引き続き他都市とのオンライン交流を、今度は『子どもの権利条約フォーラム in かわさき』に参加していたほかの団体と行ってみたい、Instagram への投稿は続けていきたい、新町のまち歩きイベントをやってみたいなど、積極的な意見が出されていました。

また、今年度は子どもの権利に関するトークイベントが新型コロナウイルス感染症の影響で中止となり、子どもの権利の普及啓発活動があまりできなかったのも、来年度はみんなで参加できるイベントを開催して子どもの権利をみんなに知ってもらいたいとの意見が多かったです。

このほか、今年度の記念品として作成するキーホルダーのデザインを高校生委員が考えてきてくれました。けんりはかせとリンゴや風せんなどを取り入れ、カラフルで明るいデザインになりました。

卒業委員へのプレゼントとしては、これまでの活動で撮影した写真を活用して、思い出がいっぱいのミニアルバムを制作することとし、これまでにみんなが取り集めた写真を見せ合い、ミニアルバムに載せたい写真を選びました。写真を見ながらこれまでの活動を振り返り、楽しかった思い出にちょっと浸りました。

今回の会議では、今日決まったスライドをもとに、発表のシナリオを完成させたいと思います。



### 令和4年度 青森市子ども会議委員募集チラシについて

前回の会議での意見をもとに、事務局が募集チラシの案を作成してくれました。

今日は、チラシに入れる写真をどれにしようか考えたいと思います。活動の様子の写真は、「子ども会議がみんなで和気あいあいと楽しく活動していることが伝わるような写真がいい」、「いろんな場所に行けることが伝わるような写真を載せたい」などの意見が出され、子ども会議で Instagram へ投稿した青森市の有名はお弁当屋さんのお昼ごはんを調査したときの写真や、子ども会議で以前作成した新町のカフェマップにあるお店の「いま」を調査したときの写真などを選びました。

このチラシを見てたくさん子どもたちが新年度、子ども会議の仲間になってくれたらと良いと思います。



**大募集!** 令和4年度 青森市子ども会議委員

①AOMORI KODOMOKAIGI ←フォローしてね!

青森市のまちづくりを子どもの目線で考えて調べて提案できる!

子どもの権利をみんなで考えみんなに知ってもらおう!

年齢や学校も違う友だちができる!

令和3年度はInstagramを開設しました! QRコードからアクセスしてください!

【問合せ】青森市福祉部 子育て支援課 電話:017-734-6330 詳しくは青森市ホームページをご覧ください。13歳~子ども、障害つ子どもの権利>子ども会議

Q 青森市子ども会議って?  
A 青森市子どもの権利委員。にもとづき、年次などについて、子どもが意見を表明し参加する場

Q どうやって活動するの?  
A 令和3年3月まで毎月1~2回くらい1回につき3時間くらいで本日が中心青森市役所会議室などで活動

Q 委員にはだれでもなれるの?  
A ①と②にあてはまる人ならだれでもOK  
①青森市内に住んでいるor市内の学校に通っている  
②令和4年度4月1日(金)の時点で年齢12歳以上18歳未満  
※高校在学中であれば18歳以上もOK

Q 応募方法は?  
A ①ら返の申込書を書いて、令和4年4月15日(金)までに子育て支援課へ提出

## 令和3年度 第22回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和4年3月5日（土） 9時30分～12時30分
- 2 場 所 青森市総合福祉センター2階 旧子どもの権利相談センター
- 3 出 席 者 会場参加：子ども会議委員5名、事務局3名  
オンライン参加：子ども会議委員2名
- 4 活動内容 (1) 令和3年度 青森市子ども会議活動報告会について
  - ・発表内容について
  - ・記念品等について(2) Instagram への投稿内容について
  - ・青森県営浅虫水族館について
  - ・ねぶたの家「ワ・ラッセ」について
  - ・青森市の学校給食について(3) 今後の活動について

### 5 開催概要

令和3年度も残すところ1か月。子ども会議の活動も、活動報告会まであと2回となりました。今日は約2か月ぶりに会場での開催となり、久しぶりに直接みんなに会えて会話も弾みました。オンライン参加の人たちにも会場のにぎやかさが伝わったのか、いつもより笑顔が多く見られます。



#### 令和3年度 青森市子ども会議活動報告会について

今日は、高校生委員を中心に活動報告会で使うスライドとシナリオを作成しました。

スライドは子ども会議フォーラム2021の発表で使用したものを基本としていますが、1年間の活動を通じて楽しかったことや伝えたいことが次々あふれ、盛りだくさんのスライドができ上がりました。

でき上がったスライドをもとに、別の委員が発表時間に合わせて説明シナリオを作りました。説明が早口にならないように気をつけて読んで、ちょうど良いくらいの文字数に調整するのが難しかったです。今年の楽しかった子ども会議の活動がうまく伝えられるように頑張ります。



次に、前回話し合った結果を基に、高校生委員が市長へプレゼントするスペシャルバージョンキーホルダーのデザインを考えてきてくれました。イメージ通りのデザインで、みんなから拍手がおこりました。このデザインをもとに、アクリルキーホルダーを作成したいと思います。



#### Instagram への投稿内容について

今年度の活動の一つである Instagram への投稿ですが、今回は小学生委員の目線から見た「青森県営浅虫水族館」、「ねぶたの家 ワ・ラッセ」、「青森市の学校給食」の3つについて紹介したいと思います。

浅虫水族館といえば、むつ湾のトンネル水槽や定番のイルカショーはもちろん、白いヒトデやとげとげのウニに触れるタッチコーナーも魅力です。

「ねぶたの家 ワ・ラッセ」は、迫力満点の大型ねぶたのほか、かわいい金魚ねぶたもいっぱい。ねぶた囃子を聞きながら、自分だけのねぶたのお面を作れるコーナーなど、ねぶたづくしが楽しいです。

子ども会議で地味に盛り上がった「青森市の学校給食」。青森市にしかないメニューの「味噌カレー牛乳ラーメン」は、いつもの給食が嫌いな子にとっても好きなメニューらしいです。昔と今で、デザートメニューが違っているらしいことも大きな話題になりました。

もっともっと青森市の魅力を発信するために、Instagram への投稿を急ぎたいと思います。

#### 今後の活動について

次の会議では活動報告会のリハーサルを行います。実際の発表に合わせてスライドとシナリオを微修正したいと思います。

令和3年度子ども会議の集大成となる活動報告会の成功に向けて、次回も頑張ります。



## 令和3年度 第23回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和4年3月12日(土) 9時30分～12時30分
- 2 場 所 青森市総合福祉センター2階 旧子どもの権利相談センター
- 3 出席者 会場参加：子ども会議委員6名、事務局3名  
オンライン参加：子ども会議委員1名
- 4 活動内容 (1) 令和3年度 青森市子ども会議活動報告会について  
・発表内容について  
・記念品等について  
(2) Instagram への投稿内容について  
・青森市観光ナビアプリについて  
(3) 今後の活動について

### 5 開催概要

いよいよ来週は青森市子ども会議活動報告会です。今日は、活動報告会の成功に向けて、当日の役割の決定と発表スライドとシナリオの最終チェックを入念に行います。また、子ども会議フォーラムで小野寺市長に教えていただいた青森市観光ナビアプリをみんなに知ってもらうため、Instagramへ投稿する内容を考えます。



#### 令和3年度 青森市子ども会議活動報告会について

はじめに、3月19日(土)の活動報告会に参加できる委員を確認し、司会と発表者、卒業委員代表などの役割を決定しました。

その後、完成したスライドとシナリオをもとに、実際の発表にかかる時間を計り、シナリオの内容の修正点などをみんなで話し合いました。1年間一緒に活動してきた仲なので、学年や学校の枠も超えて和気あいあいと意見を出し合い、とてもいい発表シナリオが完成できました。当日はInstagramのLIVE配信も行います。

子ども会議の目的や活動内容、そして何より活動の楽しさが小野寺市長をはじめ、Instagramを見ている人たちにも伝わればいいなど、今から楽しみにしています。

次に、記念品のキーホルダーについて話し合いました。デザインは、前回の会議で高校生委員が描いてくれたイラストに満場一致で決定しました。また「キーホルダーは大きめのサイズにしよう」という委員からの意見がありましたが、事務局が作成してくれた試作品を見たところ、前回話し合った内容とは異なり小さめのサイズの方が良い！という声が大きかったので、小さいサイズで作成することにしました。こんな展開も子ども会議ならではの、とても楽しいです。



### Instagram への投稿内容について

今年度の活動の一つである Instagram への投稿ですが、今日はみんなで子ども会議フォーラムで小野寺市長に教えていただいた「青森市観光ナビアプリ」を実際に使って、便利さをPRする投稿をしたいと思います。

「青森市観光ナビアプリ」は、青森の観光コース、その日にあるイベント情報、目的地までの公共交通機関の乗り換え情報や所要時間、周辺の施設（観光施設はもちろん、グルメ・カフェも！）が簡単にわかる、優れものです。しかも、観光施設のお得なクーポンもゲットできるほか、日本語以外に英語、中国語、韓国語にも対応しています。

県内外の皆さんをはじめ、海外からの観光客の皆さんにもとても便利だと思うので、しっかりとアプリのPRができるよう、Instagram の投稿内容を工夫したいと思います。



### 今後の活動について

今回は、令和3年度青森市子ども会議活動報告会です。そして、令和3年度最後の子ども会議でもあります。これまでの1年間の活動成果をしっかりと市長に報告し、また、来年度の活動に活かしていけるように頑張ります。

## 令和3年度 青森市子ども会議 活動報告会

- 1 日 時 令和4年3月19日(土) 10時00分～13時00分  
(活動報告会: 11時30分～12時00分)
- 2 場 所 青森市役所 本庁舎1階 サードプレイス  
青森市役所 議会棟4階 第1・第2委員会室
- 3 出席者 子ども会議委員11名、子どもサポーター1名、事務局7名
- 4 活動内容 ・令和3年度青森市子ども会議活動報告会  
(1) 開会  
(2) 市長あいさつ  
(3) 令和3年度青森市子ども会議活動報告  
(4) 卒業委員から後輩委員へのメッセージ  
(5) 後輩委員から卒業委員への感謝の言葉  
(6) 市長からの感想  
(7) 閉会  
・今年度の活動を振り返って

### 5 開催概要

ついに今年1年間の活動の成果を報告する活動報告会当日です。新型コロナウイルス感染症の対策としてマスクの着用や密にならないようソーシャルディスタンスを図りながら、本庁舎1階サードプレイスにて開催することになりました。市長と直接お会いすることができる最後の機会なので、参加者全員が会場に参集できてうれしいです。また、報告会の様子はInstagramでLIVE配信します。LIVE配信の担当委員は撮影棒を持参してきておりやる気満々です。全員が集まったところで、最後の確認を行ってからリハーサルを行い、いざ本番に臨みました。

#### 開会

高校生委員の司会進行により活動報告会が始まりました。まずは市長からごあいさつを頂きました。



#### 市長あいさつ

皆さんにお会いするのは、11月の子ども会議フォーラム以来となりますが、この間も、皆さんは青森市の魅力を子どもならではの目線から発信するため、Instagramを活用した情報発信を始め、奈良市子ども会議や子どもの権利条約フォーラム in かわさきへの参加といった他都市とのオンライン交流などの新たな取組に挑戦してくれました。





また、皆さんには今年度「第20回ふるさと自慢わがまちCM大賞」への出演をお願いしました。私も拝見しましたが、青森市の魅力がいろんなところに詰まっているCMとして、私は優秀賞をあげたいくらい素晴らしい作品でした。

また、子ども会議の活動にご協力いただいた子どもサポーターの皆さんのおかげもあり1年間無事に活動を行えたこと、本当に感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響の中で、思うように活動できないときもあったと思いますが、オンライン会議やグループLINEを使い、皆さんならではの工夫をしながら活動していただいたと聞いています。今日の活動報告会の様子もLIVE配信しているということで、子ども会議の活動を多くの皆様にご覧いただけるとても大事なことだと思っています。これからの発表をとても楽しみにしています。今日はよろしくをお願いします。

### 令和3年度青森市子ども会議活動報告

今年度の活動について、第1回会議でリモートツアーやSNSを活用したい、と発表していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響でリモートツアーが行えなかったり、イベントが中止・延期になったりと、いくつか変更がありました。そんな中、代替りの活動に取り組んだり、他都市の子どもたちとも交流を行うなど、充実した1年でした。

今年度、特に実施を楽しみにしていたSNS活動では、Instagramで公式アカウントを開設し、「青森市の魅力再発見」をテーマにいろいろな情報を発信しました。現時点で100人近いフォロワーがいます。中止した企画の1つであるリモートツアーの代替りとして、子ども会議委員と一緒に旅をしている気分になれる動画を複数投稿しました。

また、2年ぶりに青森市議会議場で開催した「青森市子ども会議フォーラム」では、「Instagramを活用した情報発信」と「奈良市とのオンライン交流会」の2つのグループに分かれて発表し、小野寺市長をはじめ、各部の代表者の皆さんからいろいろなことを教えてもらいました。

そして、小野寺市長からオススメしていただいた「あおもり冬のワンダーランド」にお邪魔したり、フォーラムで答えていただいた「青森観光ナビアプリ」を実際に使用した感想などをまとめ、Instagramへ投稿するなど、12月以降の活動に活かしていきました。

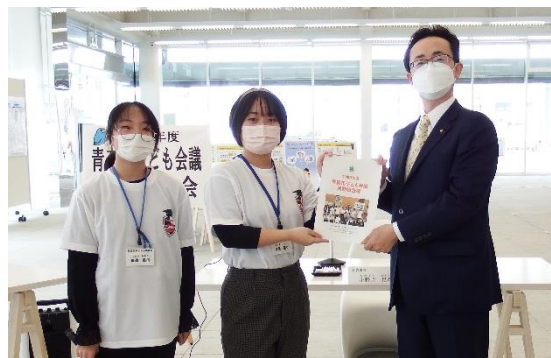
今年度の活動では、学校も学年も違うみんなで協力し、お互いの意見を尊重しあいながら、青森市のことをたくさん知ることができました。また、Instagramを活用し、私たちの目線から魅力を多くの人に知ってもらうことで、青森市を盛り上げる手伝いができたと思います。





### 令和3年度青森市子ども会議活動報告書の提出

発表が終わった後、「今年度、私たちが楽しく活動できたのも、小野寺市長をはじめ、皆様のご協力をいただいたからです。ありがとうございます。」との言葉を添え、活動報告書を市長に手渡ししました。あわせて、子どもの権利普及啓発 T シャツと手作りのキーホルダーもプレゼントしました。



### 卒業委員から後輩委員へのメッセージ

続いて、今年度子ども会議を卒業する委員の代表から、後輩委員にメッセージがありました。

私が子ども会議に入ったのは、ここにいる多くの皆さんより遅く高校1年生になってからでした。青森市のまちづくりに関わる活動がしくて参加した子ども会議でしたが、まちづくりの経験だけでなく、子どもの権利に関する知識や違う学校の仲間、かわいい後輩たちなど多くのものを得ることができました。今までの活動を振り返ると多くの思い出がありますが、特に今年度は他都市との交流や SNS での活動が実現した飛躍の年であったと思います。今年1年皆さんは様々な経験をし、たくさん発表する人、ポスターを描くのが上手な人、デジタルに強い人、みんなをまとめる人と、いつも一生懸命それぞれができることをしていました。皆さんは立派に子ども会議委員としての役割を果たし、これからも素晴らしい活動をしてくれると思います。

最後になりますが、今まで私の子ども会議委員としての活動を支えてくださったすべての皆様に改めて御礼申し上げ、卒業委員からのメッセージとさせていただきます。ありがとうございました。

### 後輩委員から卒業委員への感謝の言葉

続いて、後輩委員から卒業委員へ感謝の言葉を送りました。

先輩委員の皆さん、これまで活動おつかれさまでした。先輩方のテキパキした行動や発言を間近に感じ、いつも楽しく、安心して活動することができました。特に今年度の Instagram への投稿では、画像の加工や文章の作成など先輩方が引っ張って行ってくれた部分が大きいと思います。先輩方がいなくなると思うと寂しくなりますが、ぼくたちも先輩方を見習って、青森市子ども会議をよりよくしていきます。Instagram でも引き続き活動したいと思うので、チェックを忘れないください。今まで本当にありがとうございました。

## 市長からの感想

卒業される皆さん、本当に皆さんが先輩として引っ張ってくれたから子ども会議は今年も充実した取組ができたと思います。ありがとうございます。また、素敵なプレゼントを毎年いただき、うれしく思います。そして一番大事な報告書を見させていただきましたが、青森市の食の魅力もそうですが、オンラインの会議がとても多かったように思います。新型コロナで仕方がない部分もちろんありますが、むしろオンラインに慣れ、使いこなしている感じも報告書から読み取れました。

皆さんがどんどん成長して青森市の魅力がどんどん発信されていくことをいつも楽しみにしています。卒業する皆さんも、続けてくれる皆さんも、また新しい道に進む皆さんもぜひ子ども会議での経験を存分に活かし、ふるさと青森市をもっともっと大好きになってください。今年も1年間ありがとうございました。

## 閉会

最後にみんなで記念撮影を行い、活動報告会は終了となりました。



## 今年度の活動を振り返って

無事に活動報告会を終え、委員会室に移動し、最後に、今年度の活動を振り返った感想をみんなで発表しました。

### <委員からの主な感想>

- ・ コロナ禍で大変だったけど、Instagram やオンライン交流会など新しい活動が多く楽しかった
- ・ 青森市の魅力に気づき、たくさんPRすることができたので良かった
- ・ 先輩がいなくなってしまうのは寂しいけど、来年は自分が引っ張っていけるように頑張りたい
- ・ Instagram の LIVE 配信をもっと多くの人に見てもらえるようにこれからも頑張ろうと思う

卒業委員と事務局からも一言もらい、令和3年度の子どもの会議の活動はすべて終了しました。皆さん、1年間おつかれさまでした。

## 令和3年度青森市子ども会議委員名簿

区分	氏名	学年
小学生	後藤 美侑	5年
	豊川 恋莉	5年
	長谷川 巧	5年
	阿部 要太	6年
	横山 伊織	6年
中学生	野戸谷 朱莉	1年
	豊川 さくら	2年
	細川 侑寧	2年
	岡本 翔馬	3年
高校生	奥村 向陽	1年
	木立 倭乎	1年
	宮越 光子	1年
	渋谷 咲良	2年
	関 智朗	2年
	田村 光紗紀	2年
	乗田 雫杏	2年
	高坂 菜月	3年
	作間 萌々	3年
	下總 穂香	3年
	須郷 水彩	3年
	中畑 優奈	3年

小学生5名、中学生4名、高校生12名 計21名

## 令和3年度青森市子どもサポーター名簿

氏名	所属先	氏名	所属先
秋元 瑞貴	青森公立大学	横山 結菜	青森公立大学
田村 綾萌	東奥保育・福祉専門学院	佐々木 世奈	青森公立大学
中島 このか	青森医師会立准看護学院	森 慶祐	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
濱田 華音	株式会社 太陽不動産		

# 青森市子どもの権利条例

平成二十四年十二月二十五日

条例第七十三号

青森市は豊かな青い森に抱かれたまちです。森では、木々、草花、鳥や虫など数え切れない生きとし生けるものが生まれ、育まれています。これらが互いに深く結びつき、共に支え合う森は、新たないのちのゆりかごであり続けます。

私たちは、この青森市が、生きる力みなぎる子どもが育つ大きなゆりかごであって欲しいと願っています。

そこでは、子どもと大人が育ち合い、学び合う関係が大切にされなければなりません。そのことによって、子どもは、他者を尊重しながら共に支え合い、青森市の文化や伝統を受け継ぎ、未来を切り開いていくことができるのです。

日本は、世界の国々と児童の権利に関する条約を結び、子どもだからこそ認められるべき権利を保障し、自分らしく生きることを大切にすると約束しています。

市は、この条約に基づき「子どもに関係のあることを行うときには、子どもにとって今もっとも良いことは何かを第一に考える」という「子どもの最善の利益」（同条約第三条）を基本理念として、子どもが健やかに育つための環境づくりを進めてきました。

市が設置した青森市子ども委員会の子どもたちは、子どもの権利について学ぶ中で、「人はそれぞれ個性をもち、誰もが大切な存在として同じところ、違うところを認め合うことが大事である」、「大人は、子どもの意見に最後まで耳を傾けてほしい」、「ちょっとしたことでも、『あなたには、こういう良いところがある。』と言ってほしい」と宣言しています（平成二十三年三月子ども宣言文）。

私たちは、子どもが他者と共に生き支え合う市民として成長する青い森のまちづくりをめざし、子どもの権利を保障することを表明し、この条例を制定します。

## 第一章 総則

### （目的）

第一条 この条例は、子どもが愛情をもって生まれ、毎日をのびのびと生き、自分らしく豊かに成長し、発達していくことができるよう、子どもにとって大切な権利の保障を図ることを目的とします。

### （定義）

第二条 この条例で、次に掲げる用語の意味は、それぞれ次に定めるとおりとします。

- 一 子ども 十八歳未満の人その他これと等しく権利を認めることが適当であると規則に定める人をいいます。
- 二 大人 過去に子どもであった全ての人をいいます。
- 三 保護者 親や親に代わり子どもを養育する人をいいます。
- 四 育ち学ぶ施設 保育所、学校、児童養護施設その他子どもが育ち、学ぶことを目的として通園し、通学し、入所し、利用する施設をいいます。



### **(基本的な考え方)**

第三条 子どもの権利の保障は、次の基本的な考え方に従って進められなければなりません。

- 一 子どもの最善の利益を優先して考えること。
- 二 子ども一人一人が権利の主体として尊重されること。
- 三 子どもの成長と発達に配慮した支援が行われること。

### **(大人の責務)**

第四条 保護者は、子育ての第一の責任者として、子どもの権利を尊重しなければなりません。

- 2 育ち学ぶ施設の関係者は、子どもが自分らしく成長し、発達していくために育ち学ぶ施設が大切な役割を持つことを認識し、子どもの権利を尊重しなければなりません。
- 3 地域住民は、地域が子どもの成長と発達にとって重要な場であることを認識し、子どもの権利を尊重しなければなりません。
- 4 第一項の保護者、第二項の育ち学ぶ施設の関係者、第三項の地域住民のほか、大人は子どもの権利を尊重しなければなりません。

## **第二章 子どもにとって大切な権利**

### **(子どもにとって大切な権利の保障と互いの権利の尊重)**

第五条 子どもには、成長し、発達していくために、この章に定める大切な権利が保障されなければなりません。

- 2 子どもは、自分の権利が尊重されるのと同じように、他人の権利を尊重しなければなりません。

### **(安心して生きる権利)**

第六条 子どもには、安心して生きるために、次のことが保障されなければなりません。

- 一 命が守られ、平和で安全な環境のもとで暮らすこと。
- 二 愛情をもって育まれること。
- 三 食事、医療、休息が保障され、健康的な生活を送ること。
- 四 いじめ、虐待、体罰その他身体的、精神的暴力と有害な環境から守られること。
- 五 性別、国籍、障害などを理由に、いかなる差別も受けないこと。
- 六 困っているときや不安に思っているときには、相談し、支援を受けることができること。

### **(自分らしく生きる権利)**

第七条 子どもには、自分らしく生きるために、次のことが保障されなければなりません。

- 一 自分の個性や他人との違いを認められ、一人の人間として尊重されること。
- 二 自分自身の夢や希望を持ち、可能性に挑戦すること。
- 三 プライバシーや自らの名誉が守られること。
- 四 自分が思ったことや感じたことを表現すること。
- 五 自分にとって必要な情報や知識を得ること。
- 六 自分にとって大事なことを年齢や成長に応じて、適切な助言や支援を受け、自分で決めること。
- 七 安心して過ごすことができる時間や居場所を持つこと。

#### **(豊かで健やかに育つ権利)**

第八条 子どもには、豊かで健やかに育つために、次のことが保障されなければなりません。

- 一 遊ぶこと。
- 二 学ぶこと。
- 三 芸術やスポーツに触れ親しむこと。
- 四 青森の文化、歴史、伝統、自然に触れ親しむこと。
- 五 まちがいや失敗をしたとしても、適切な助言や支援を受けることができること。

#### **(意見を表明し参加する権利)**

第九条 子どもには、他人の意見を尊重しつつ、自分の意見を表明し、社会に参加するために、次のことが保障されなければなりません。

- 一 家庭、育ち学ぶ施設、地域などで、自分の意見を表明すること。
- 二 自分にとって重要な決定が行われる場合は、自分の意見を主張できること。
- 三 自分の表明した意見に対し、適切に配慮されること。
- 四 仲間をつくり、集まり、活動すること。

### **第三章 子どもにとって大切な権利の保障に関する市の責務と取組**

#### **(子どもの権利の普及啓発と学習支援)**

第十条 市は、子どもの権利の普及を図るため、子どもと大人が共にこの条例と子どもの権利について適切に学び、理解するための機会を提供するものとします。

2 市は、毎年十一月二十日を「青森市子どもの権利の日」とし、この日にふさわしい活動を行うものとします。

#### **(子どもの育ちへの支援)**

第十一条 市は、子どもの豊かな育ちを支援するため、次のことに取り組むよう努めなければなりません。

- 一 子どもに健全で多様な生活体験や交流の場と機会を提供すること。
- 二 子どもが安心して過ごすことができる居場所づくりを進めるとともに、子どもが相談できる場と意見表明し社会に参加する機会を提供すること。

#### **(保護者への支援)**

第十二条 市は、保護者が安心して子育てができるよう支援に努めなければなりません。

2 市は、特別に支援が必要な保護者に対しては、それに応じた支援に努めなければなりません。

#### **(子どもの命と安全を守る取組)**

第十三条 市は、いじめ、虐待、体罰その他身体的、精神的暴力の防止と早期発見に努めるとともに、それら子どもの権利の侵害からの救済に必要な取組を実施するものとします。

2 市は、子どもが薬物、犯罪などの被害を受けないように、必要な取組を実施するものとします。

#### (子ども会議)

第十四条 市は、市政などについて、子どもが意見を表明し参加する場として、青森市子ども会議（以下「子ども会議」といいます。）を置きます。

- 2 市は、子どもに関わることを検討するときは、子ども会議の意見を尊重するよう努めなければなりません。

#### (子どもの権利の保障の行動計画と検証)

第十五条 市は、この条例の目的を達成するため、子どもの権利の保障に関する行動計画（以下「行動計画」といいます。）を定めるものとします。

- 2 行動計画の検証は、青森市健康福祉審議会条例（平成十八年青森市条例第四十三号）に定める児童福祉専門分科会で行うものとします。
- 3 行動計画の検証を実施するに当たっては、子ども会議の意見を尊重するよう努めなければなりません。

### 第四章 子どもにとって大切な権利の侵害からの救済と回復

#### (相談と救済)

第十六条 市は、子どもの権利の侵害に関する相談や救済について、関係機関などと相互に協力と連携を図るとともに、子どもの権利の侵害の特性に配慮した対応に努めなければなりません。

#### (子どもの権利擁護委員)

第十七条 市長は、子どもの権利の侵害について、子どもやその関係者から相談や救済の申立てを受け、その救済と権利の回復のために必要な調査、助言、支援などを行い、これらの調査などの結果を踏まえた是正措置や制度改善の勧告や要請を行うなどのため、青森市子どもの権利擁護委員（以下「委員」といいます。）を置きます。

#### (委員の職務)

第十八条 委員の職務は、次に掲げるとおりとします。

- 一 子どもやその関係者から相談を受け、助言、支援、関係者間の調整を行うこと。
  - 二 子どもやその関係者から救済の申立てを受け、事実の調査や関係者間の調整を行うこと。
  - 三 子どもやその関係者から救済の申立てがなくても、その救済と権利の回復のために必要があると認めるときは、事実の調査や関係者間の調整を行うこと。
  - 四 第二号、第三号の規定による調査などの結果、必要があると認めるときは、是正措置や制度改善について、関係する市の機関に対する勧告や市の機関以外のものに対する要請を行うこと。
  - 五 第四号の規定により勧告や要請を行った後に、必要があると認めるときは、その是正措置などの状況に関しこれらの勧告などを受けたものに報告を求め、その内容を救済の申立てを行った人などに伝えること。
- 2 委員は、第一項第二号、第三号の事実の調査を次の方法により行うことができます。
    - 一 関係する市の機関に対し説明を求め、その保有する文書その他の記録の閲覧や提出を要求し、実地に調査すること。
    - 二 必要な限度において市の機関以外のものに対し、資料の提出、説明その他の必要な協力を求めること。

#### (委員の人数、任期など)

第十九条 委員は、三人以内とします。

- 2 委員は、人格が優れ、子どもの権利に関し専門的知識と経験を持つ人のうちから、市長が委嘱します。
- 3 委員の任期は三年とし、再任を妨げません。
- 4 委員は、職務上知ることができた秘密を漏らしてはなりません。委員の職を離れた後も同様とします。
- 5 委員は、第四項に定めるもののほか、その職務を遂行するに当たって、次のことを守らなければなりません。
  - 一 子どもやその関係者の人権について、十分に配慮すること。
  - 二 相談や救済の申立てなどの内容に応じ、関係機関などと協力して、その職務を行うこと。
- 6 市長は、委員が第四項前段の規定に違反したことが判明したときやその職務の遂行に必要な適格性を欠くと認めるときは、これを解嘱するものとします。

#### (勧告の尊重と委員への協力)

第二十条 第十八条第一項第四号の規定により勧告を受けた市の機関は、その勧告の内容を十分に尊重しなければなりません。

- 2 第一項に定めるもののほか、市の機関は、委員の職務に積極的に支援や協力をしなければなりません。
- 3 市の機関以外のものは、委員の職務に協力をするよう努めなければなりません。

#### (調査相談専門員)

第二十一条 市長は、子どもの権利の侵害について、子どもやその関係者から相談を受け、委員と連携し、必要な調査、助言、支援を行うため、調査相談専門員を置きます。

### 第五章 雑則

#### (委任)

第二十二条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長が別に定めます。

#### 附 則

#### (施行期日)

この条例は、公布の日から施行します。ただし、第四章の規定は、公布の日から起算して六月を超えない範囲内において規則で定める日から施行します。